

令和7年度

岡山県真庭保健所運営協議会

岡山県真庭保健所

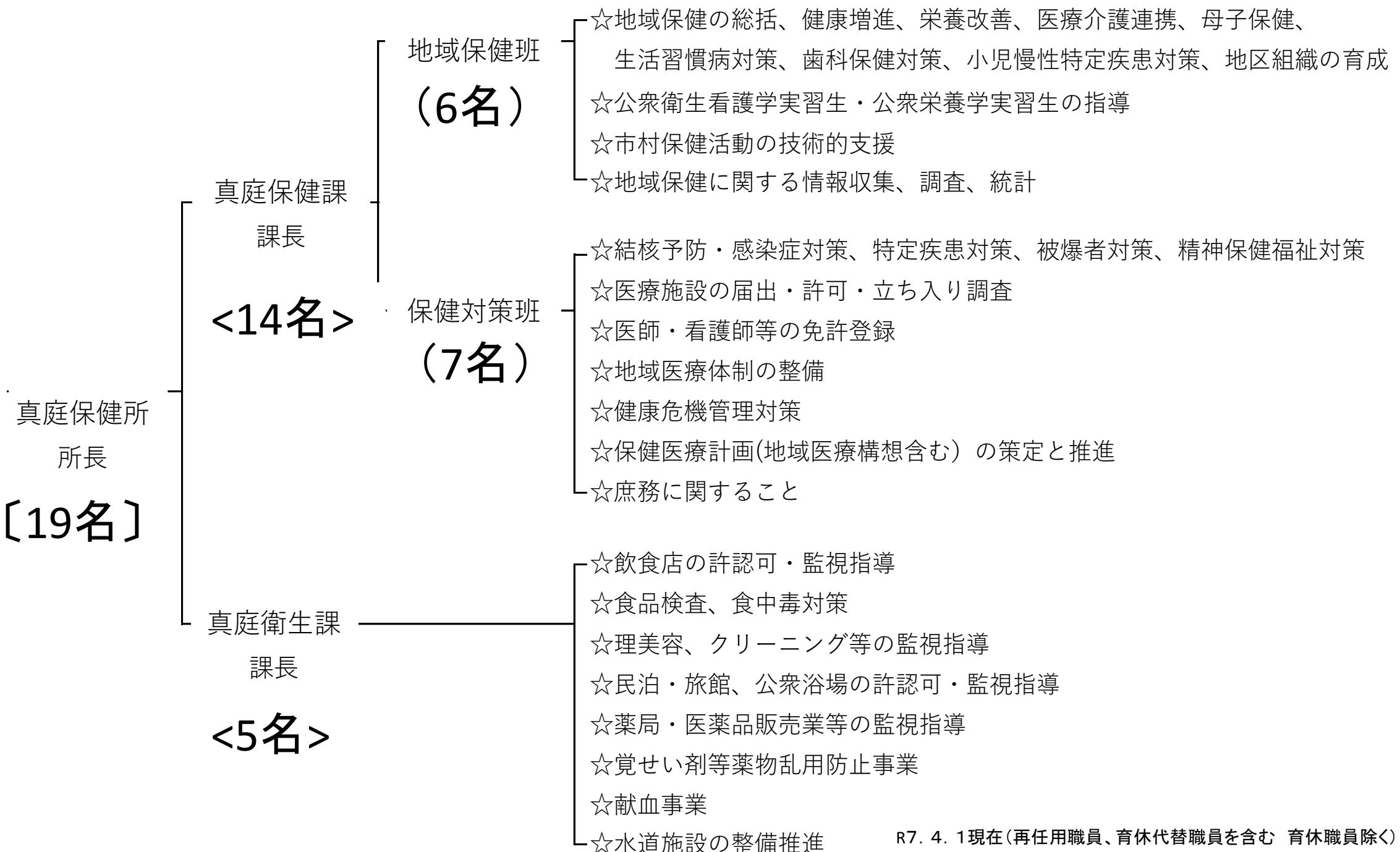
目 次

- 真庭保健所の組織
- 管内概況
- 主要施策

<関連データ掲載ページ>

1 地域における医療提供体制の整備	P 9～P39
2 健康危機管理対策	
3 障害のある人の自立と社会参加の促進	P40～P43
4 子育て支援・少子化対策の推進	P44～P45
5 感染症対策	P46～P47
6 健康づくりの推進	
7 安全・安心な生活衛生の推進	P48～P50
○ 主な取り組み(保健課、衛生課)	

真庭保健所の組織及び所掌事務の概要



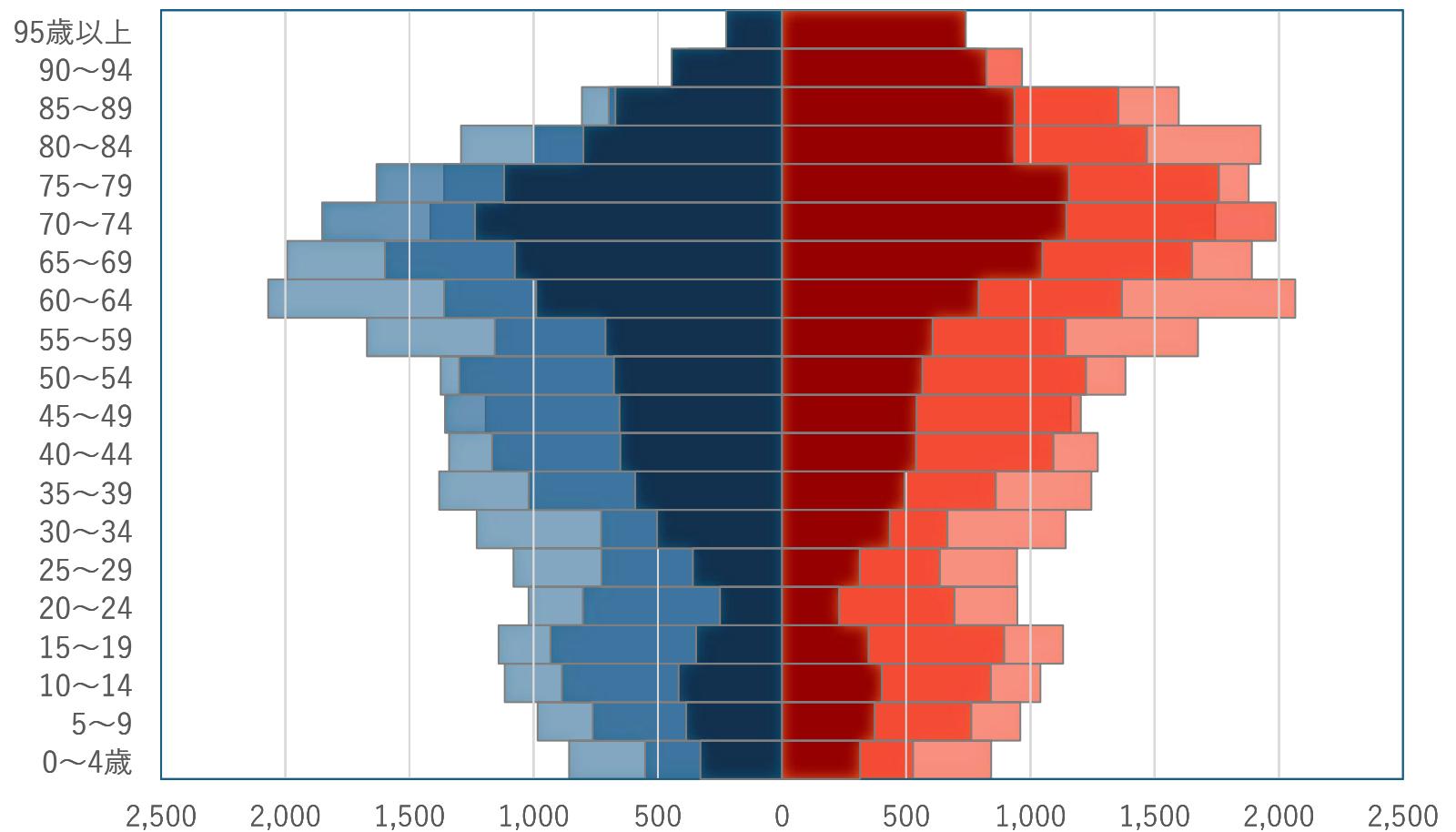


管内の概況 人口、高齢化率、人口動態等



人口ピラミッド(真庭保健所管内)

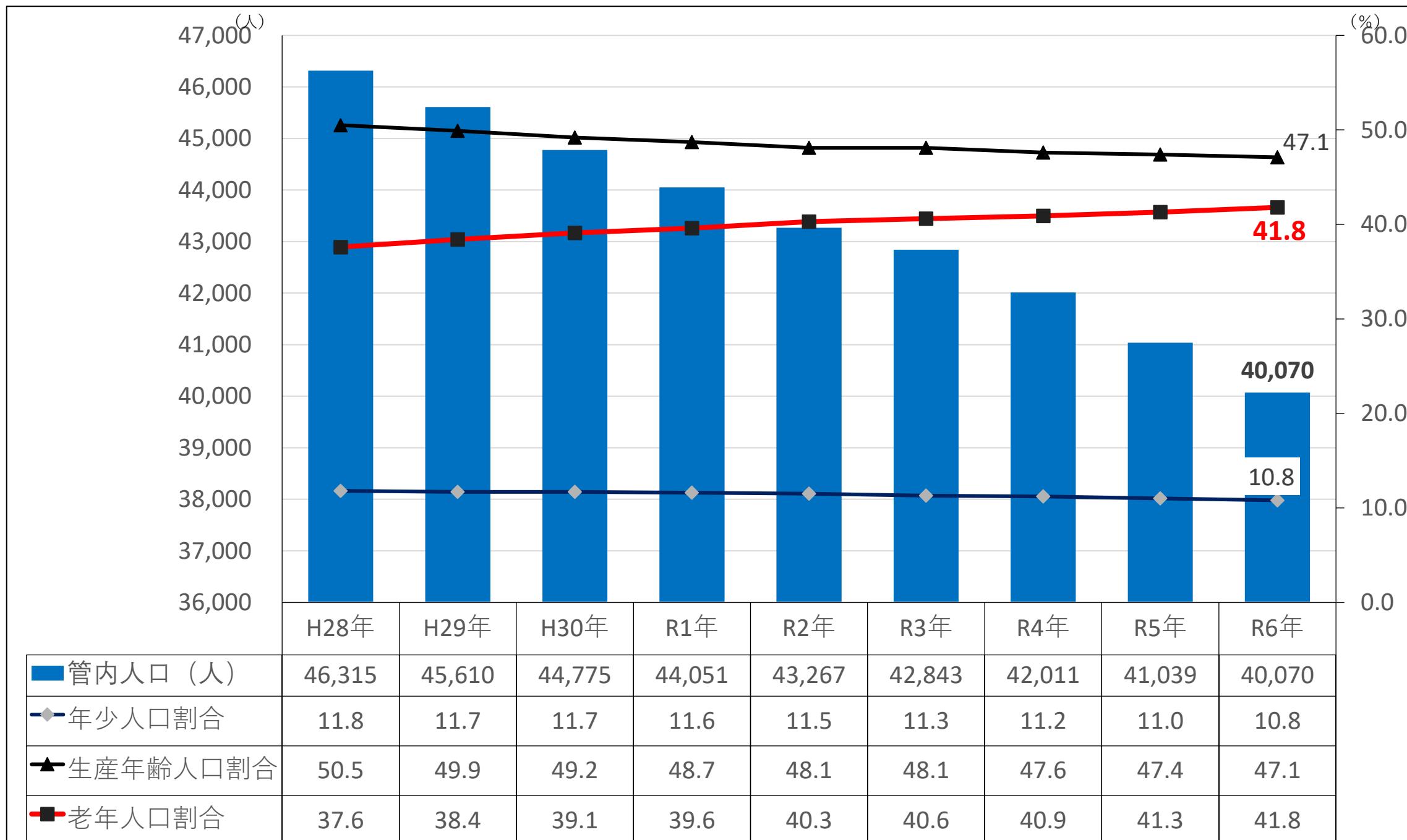
2015→2025→2050(推計)



資料：岡山県毎月流動人口調査（年報・10月1日現在）、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」から真庭保健所作成



管内人口及び年少人口・生産年齢人口・老年人口割合の推移



出典:岡山県統計分析課「毎月流動人口調査」年報(各年10月1日現在、翌年1月頃公表)

主要施策について

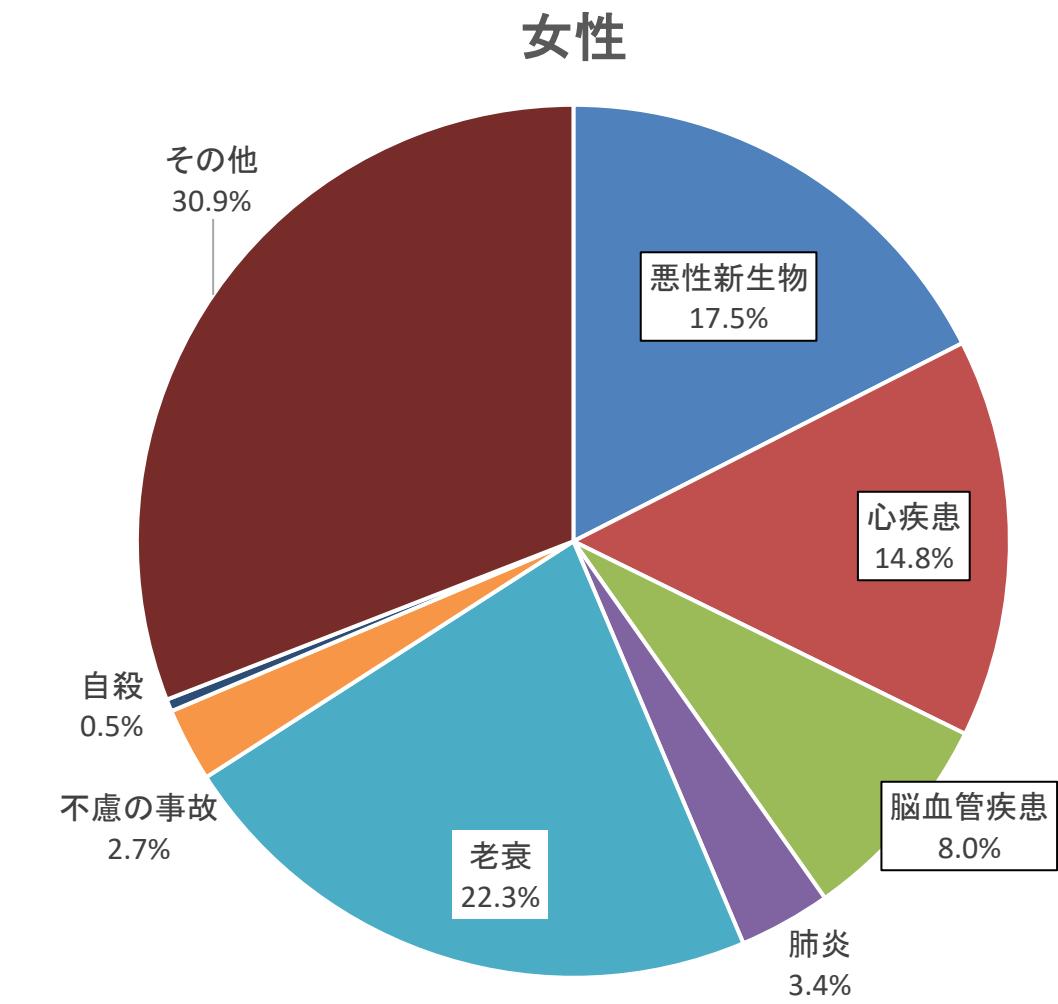
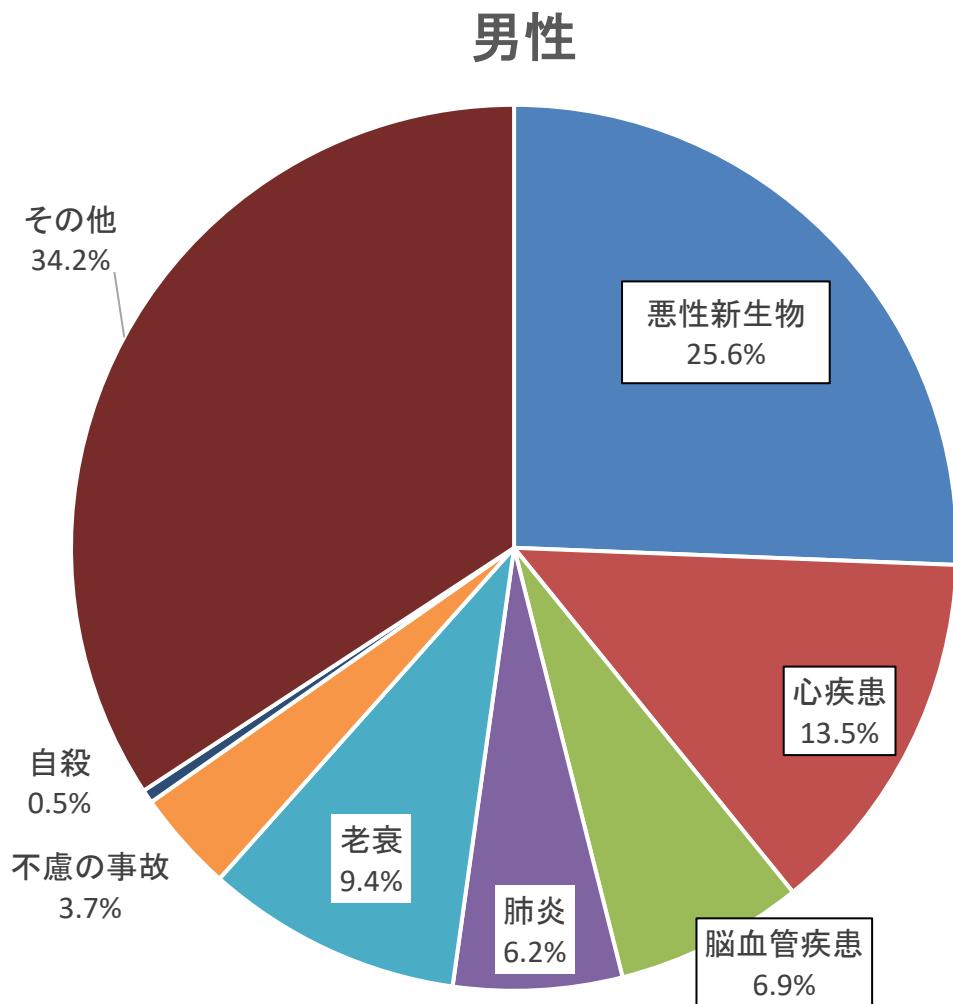
令和7年度真庭保健所の主要施策

- 1 地域における医療提供体制の整備
- 2 健康危機管理対策
- 3 障害のある人の自立と社会参加の促進
- 4 子育て支援・少子化対策の推進
- 5 感染症対策
- 6 健康づくりの推進
- 7 安全・安心な生活衛生の推進

主要施策に関するデータ集

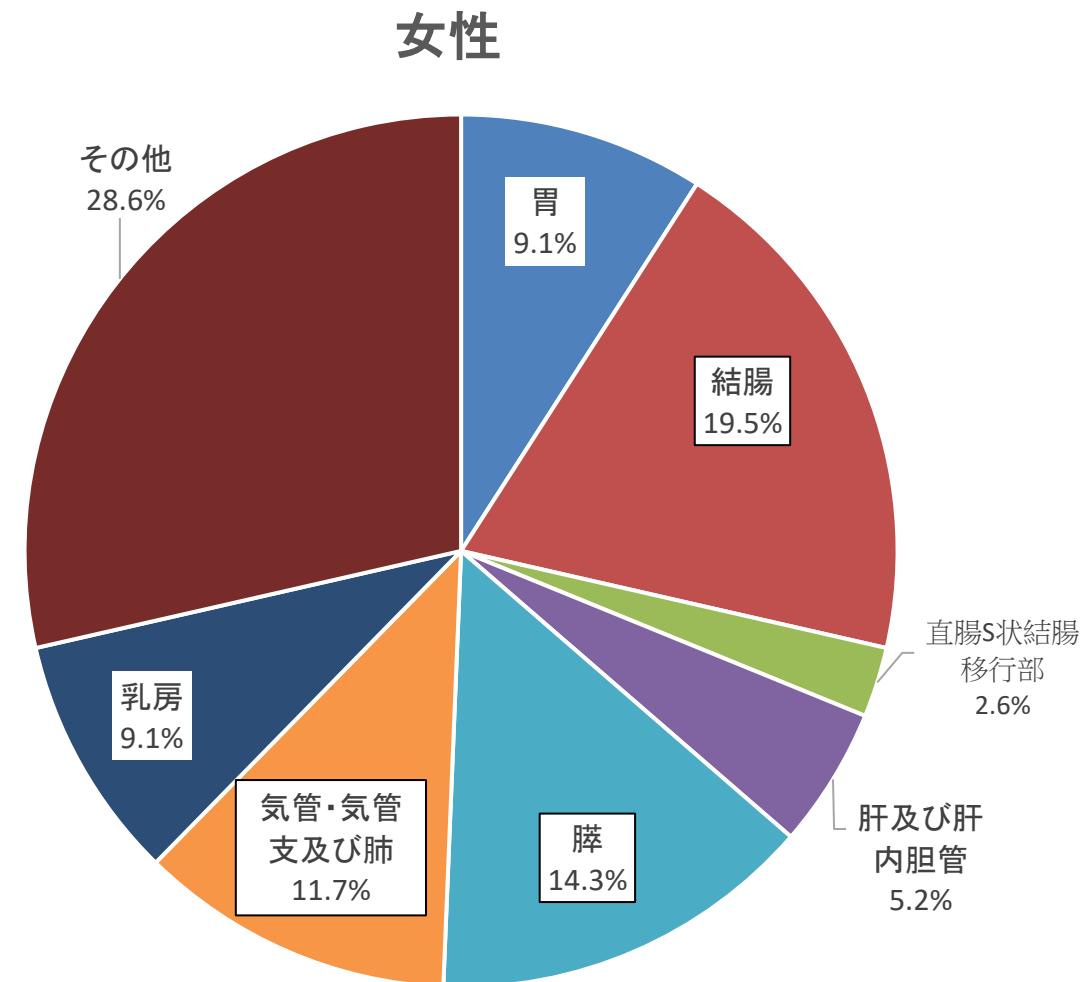
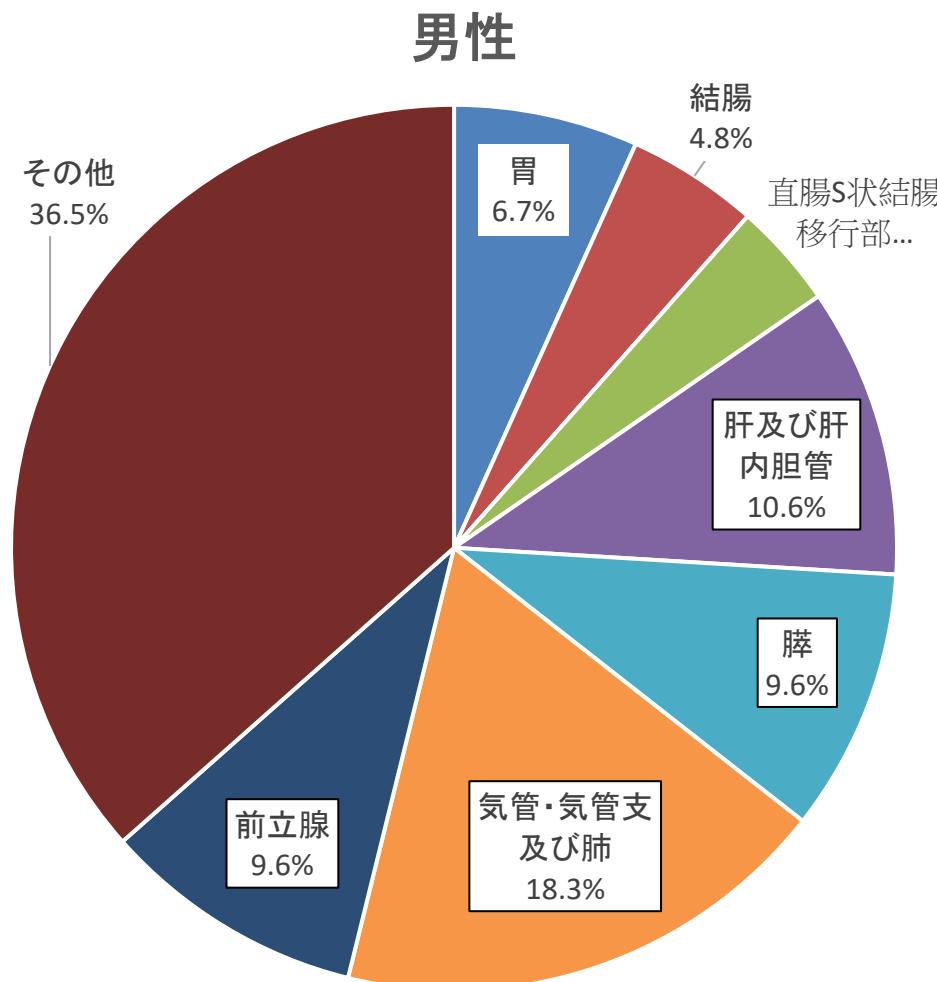
1 地域における医療提供体制の整備

管内の主な死因別の割合（令和5年）



資料:厚生労働省「令和5年人口動態統計（確定数）」

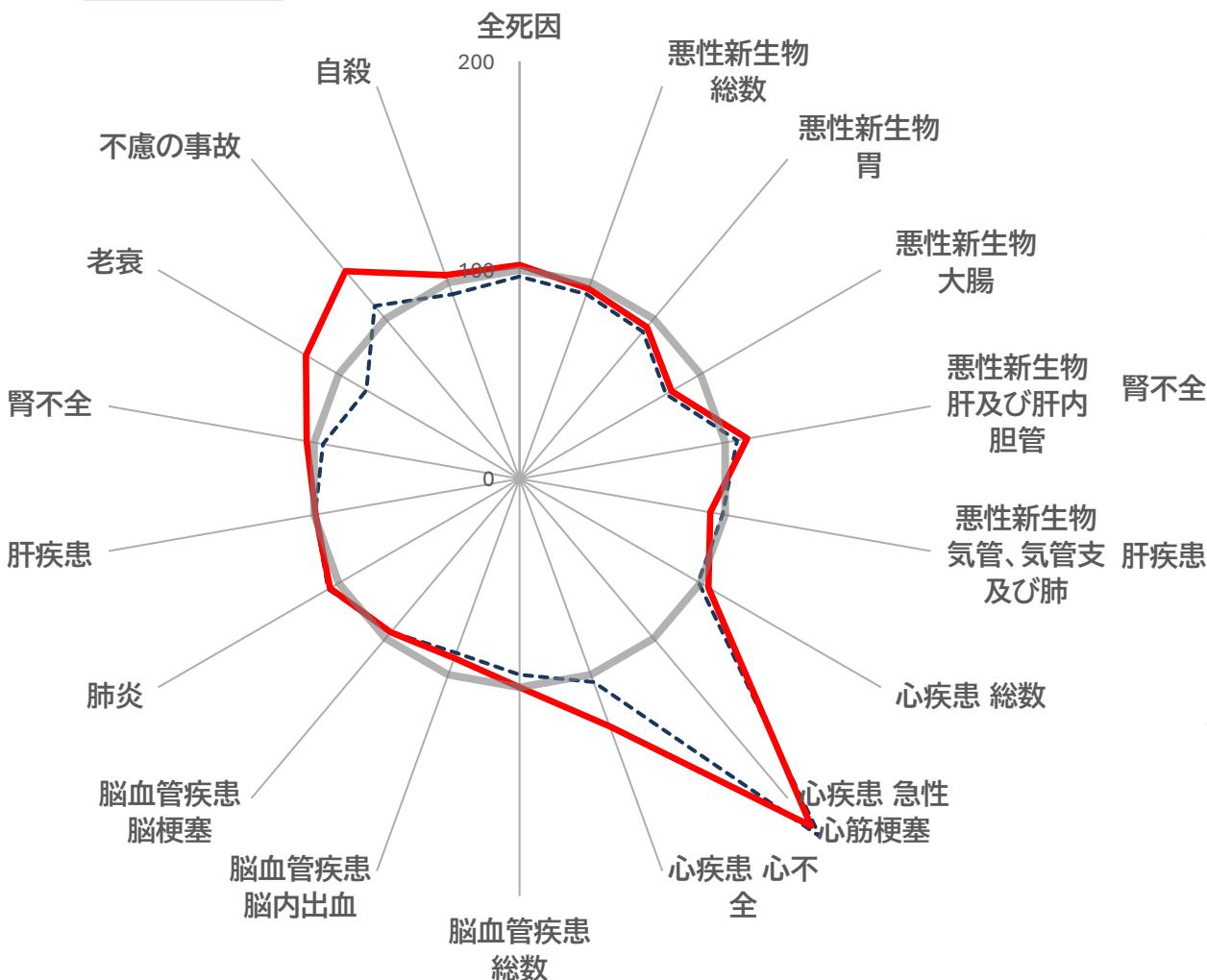
死因（悪性新生物）の疾患別内訳（令和5年）



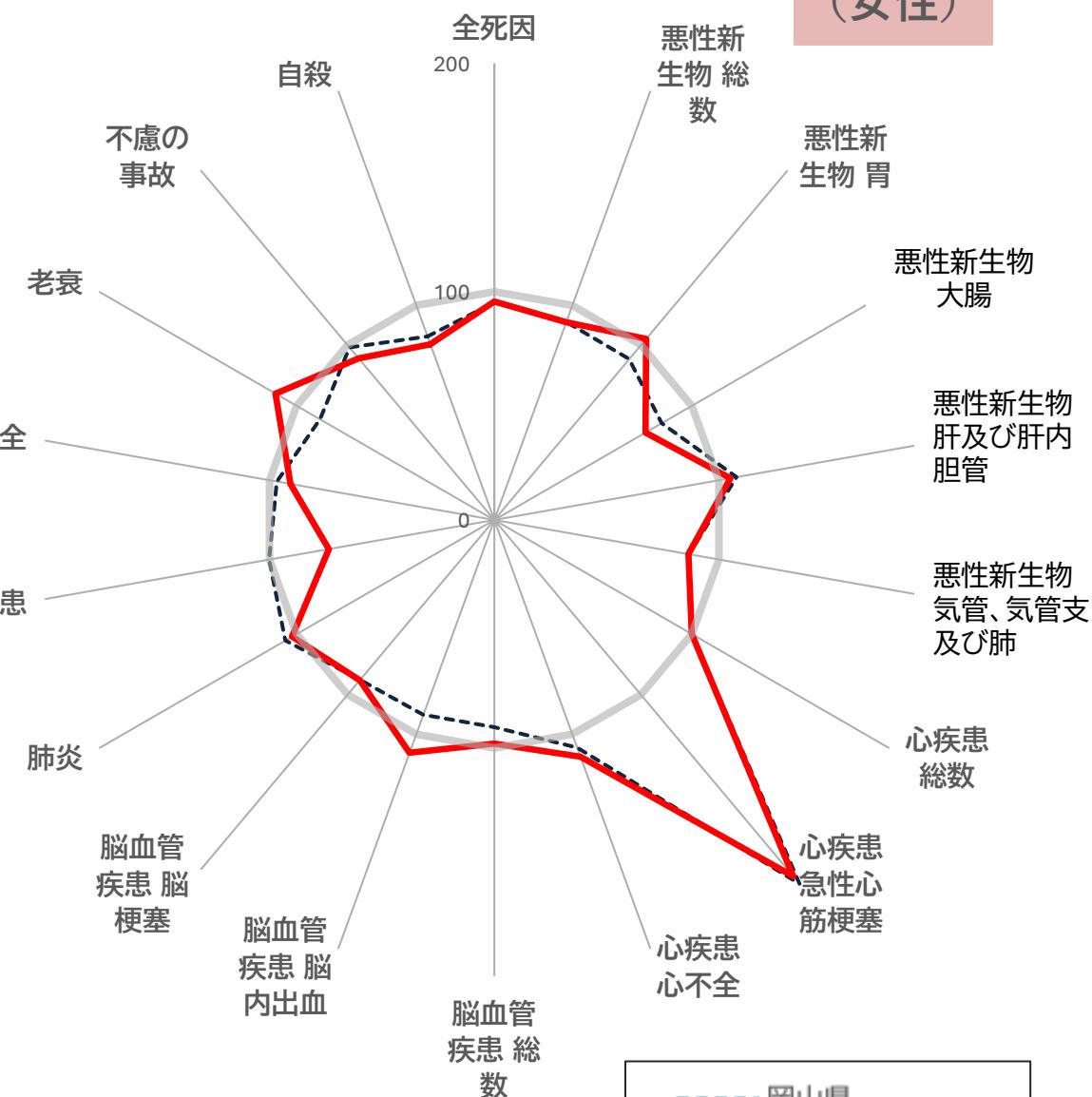
資料:厚生労働省「令和5年人口動態統計（確定数）」

管内の主要死因別標準化死亡比 (SMR)

(男性)



(女性)

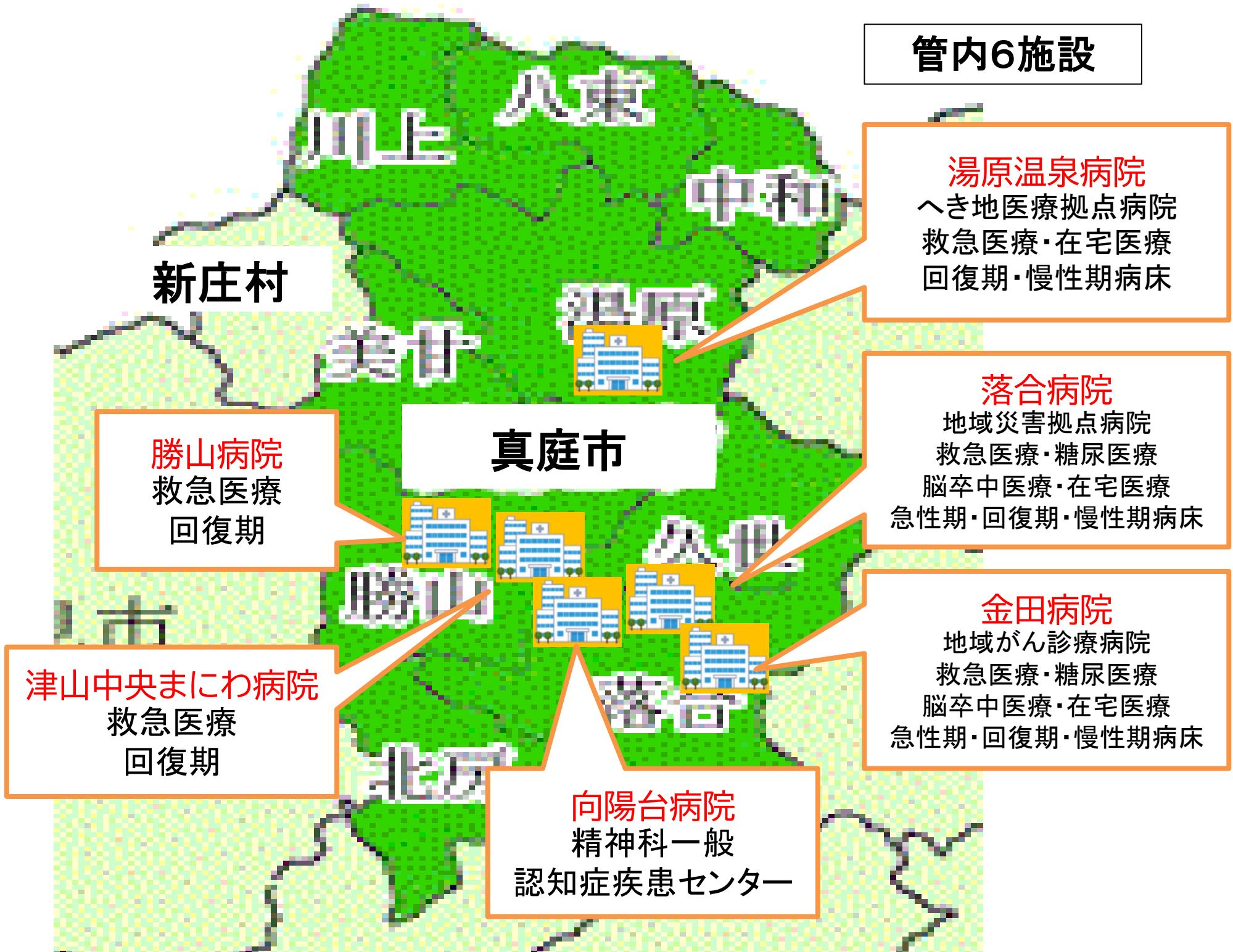


急性心筋梗塞の標準化死亡比(SMR)が高い

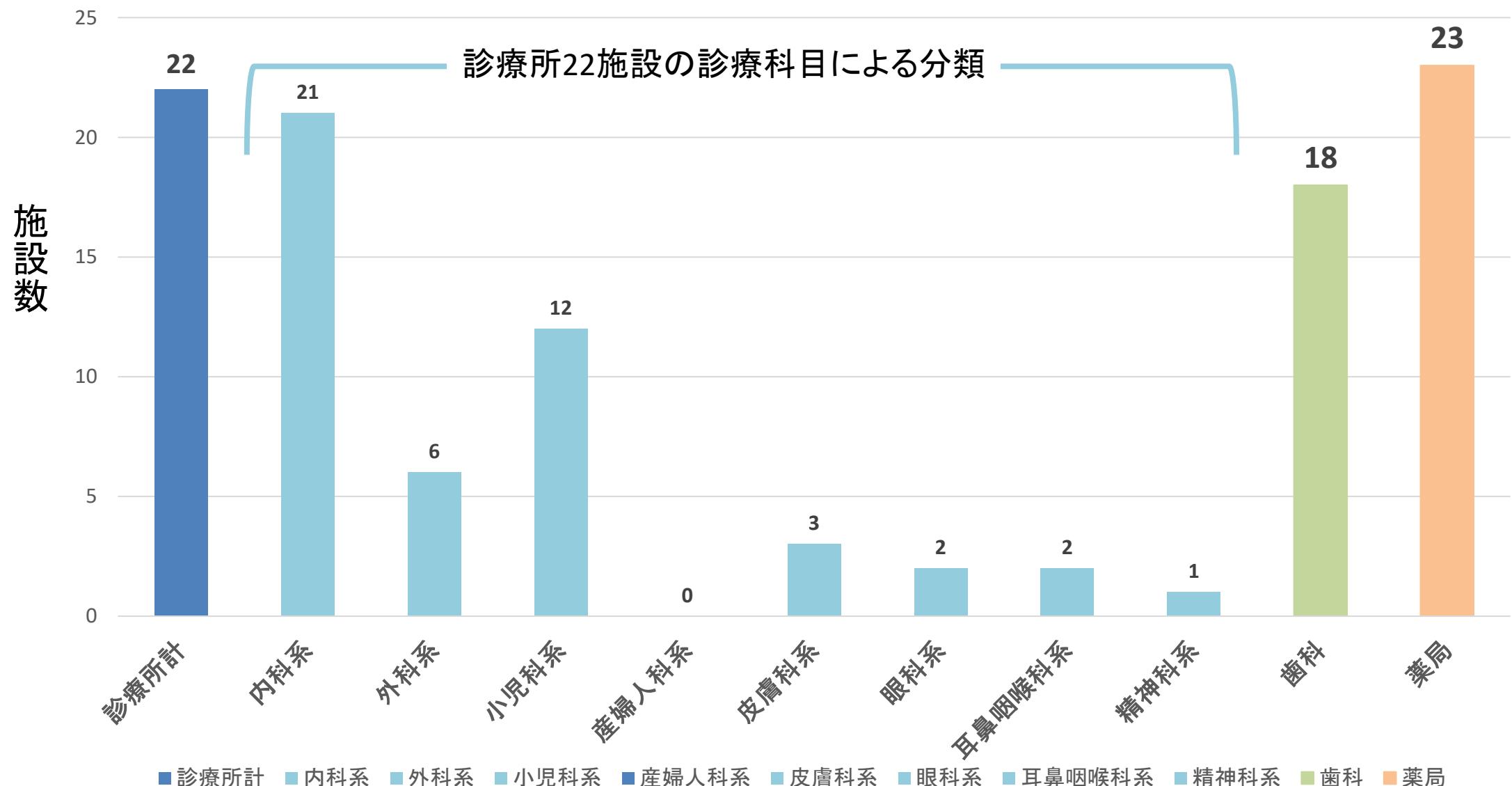
岡山県
真庭保健所管内

資料:厚生労働省「人口動態統計特殊報告平成30年～令和4年人口動態保健所・市区町村別統計」

真庭保健所管内病院の機能



診療所、歯科、薬局の状況



参考： 診療科目分類は日本医師会地域医療情報システムから https://jmap.jp/cities/detail/medical_area/3304?pref_id=

真庭圏域 医療機関数の推移

真庭保健医療圏域 医療機関数の推移 (高齢者施設付属診療所を除く)

	開院・開所中 医療機関			増減			備考
	病院	診療所	(内へき地)	新設	休診	廃院	
平成30年	7	32	5	0	0	0	
令和元年	7	33	5	1	0	0	
令和2年	7	32	5	0	0	1	
令和3年	7	29	5	0	2	1	
令和4年	7	28	5	0	1	1	休診から廃院へ:1
令和5年	6	25	4	0	2	4	休診から廃院へ:2
令和6年	6	22	4	0	1	2	休診から廃院へ:2
令和7年	6	22	4	0	0	0	
令和7年8月末現在	6	22	4	0	0	0	

33. 3%減

資料：医療機関からの届出により作成

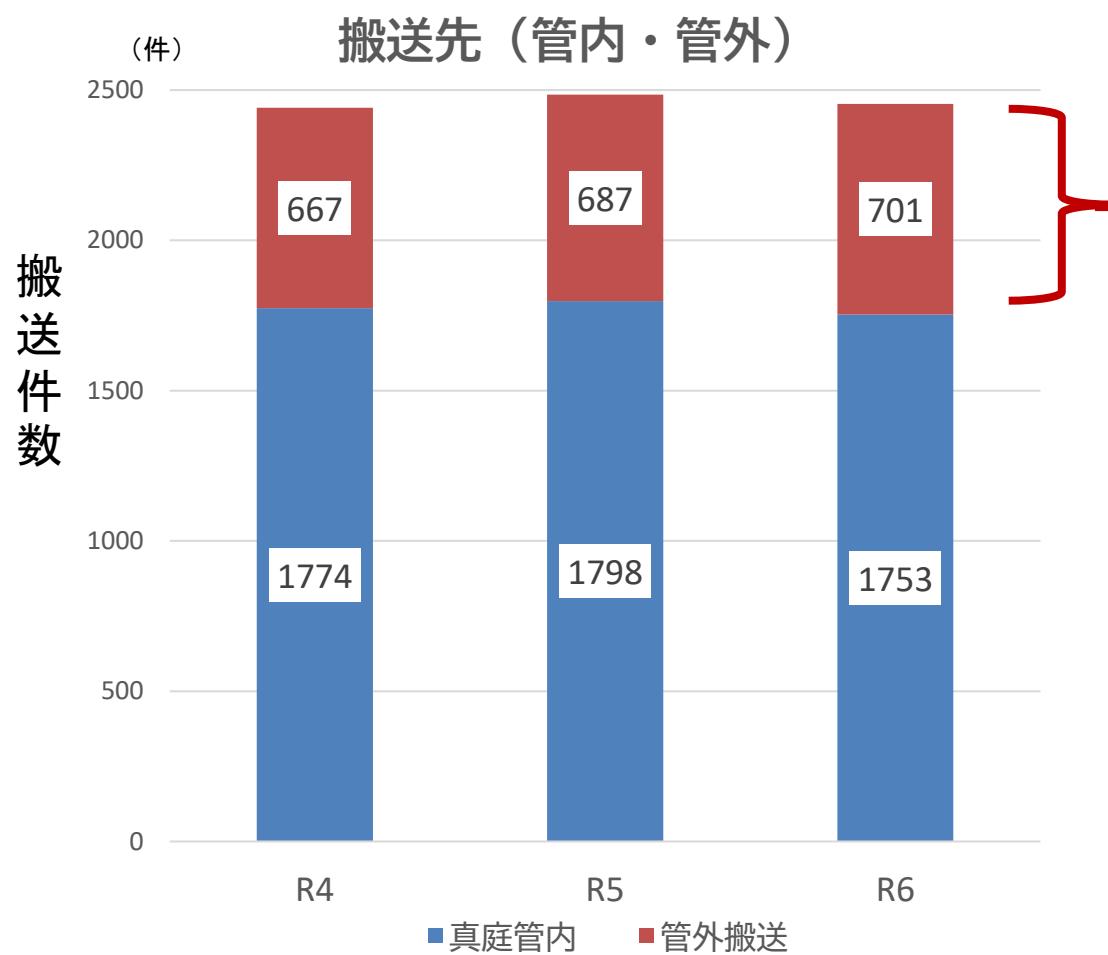
救急医療体制の状況



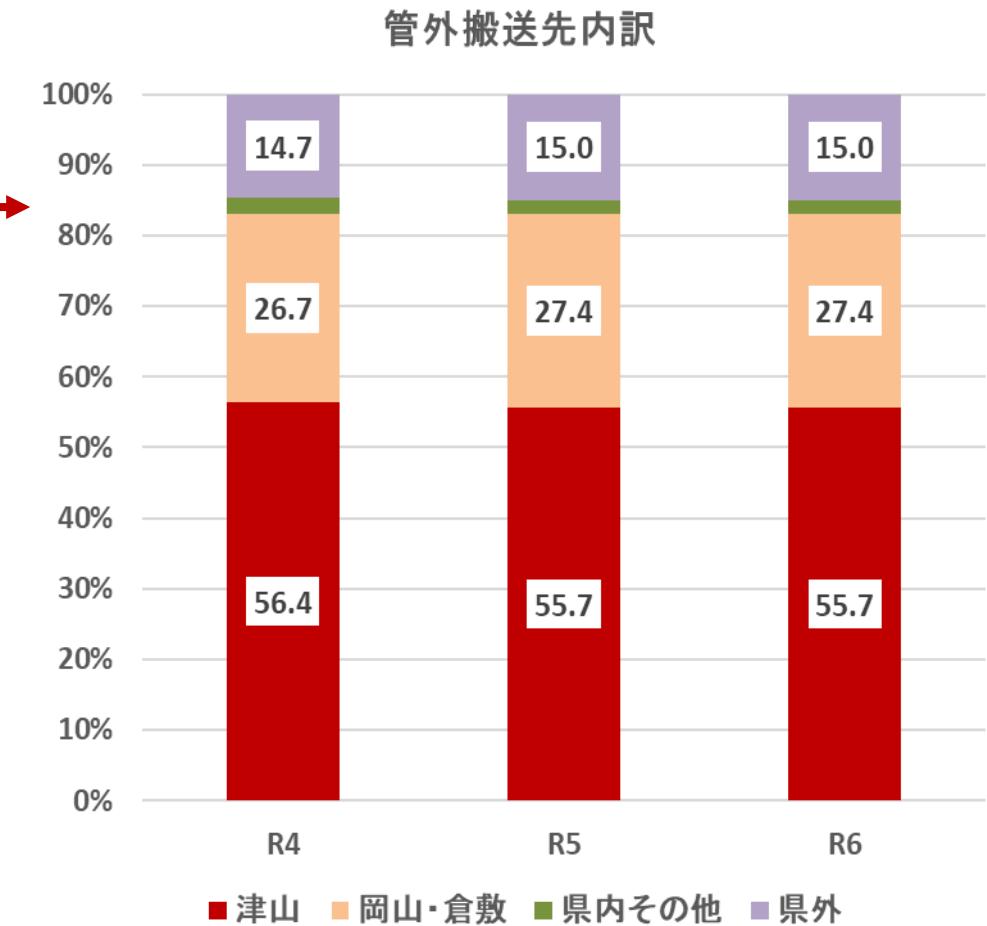
【救急医療】真庭圏域の応需状況

	R4年	R5年	R6年
救急搬送総件数	2441件	2485件	2454件

搬送先別内訳(令和4年～令和6年)



管外搬送の内訳



資料：R6 真庭市消防本部提供データから作成

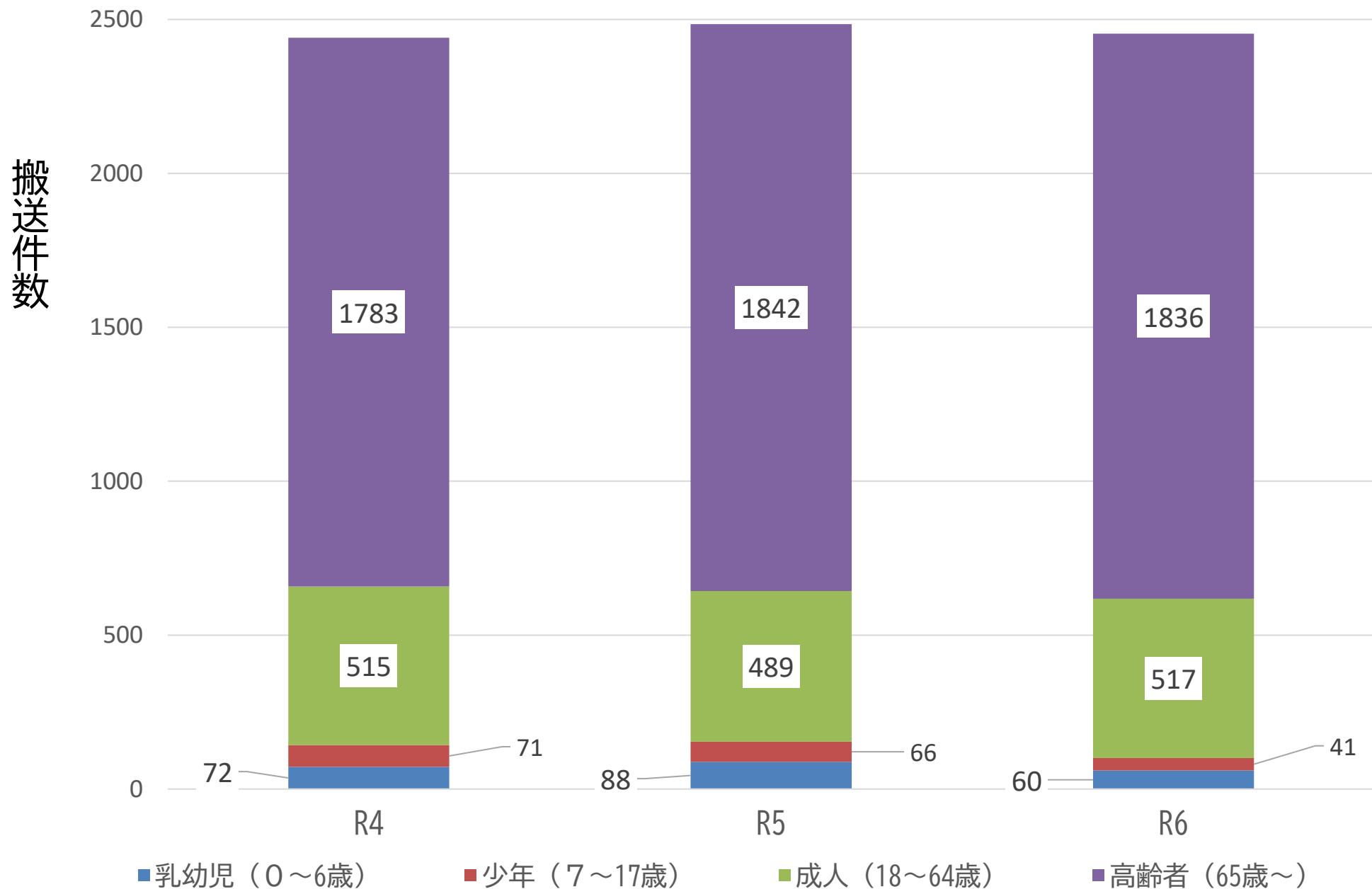
【救急医療】真庭圏域の応需状況

搬送先別内訳(令和4年～令和6年)

		令和4年	令和5年	令和6年
		人 数 (割合)	人 数 (割合)	人 数 (割合)
救急搬送総人数		2441人	2485人	2454人
搬送先別	真庭管内	1774人 (72.7%)	1798人 (72.4%)	1753人 (71.4%)
	管外搬送	667人 (27.3%)	687人 (27.6%)	701人 (28.6%)
管外搬送内訳		667人	687人	701人
管外内訳	(津山)	376人 (56.4%)	383人 (55.7%)	373人 (55.7%)
	(岡山・倉敷)	178人 (26.7%)	188人 (27.4%)	206人 (27.4%)
	(県内その他)	15人 (2.2%)	13人 (1.9%)	9人 (1.9%)
	(県外)	98人 (14.7%)	103人 (15.0%)	113人 (15.0%)

資料:R6年度真庭医療圏域救急医療体制推進協議会から抜粋(真庭市消防本部作成)

搬送年齢別内訳（令和4年～令和6年）



資料：R6 真庭市消防本部提供データから作成

搬送年齢別内訳（令和4年～令和6年）

		令和4年	令和5年	令和6年
		人 数 (割合)	人 数 (割合)	人 数 (割合)
救急搬送総人数		2441人	2485人	2454人
年 齢 別 内 訳	乳幼児 (0歳～6歳)	72人 (3.0%)	88人 (3.5%)	60人 (2.4%)
	少年 (7歳～17 歳)	71人 (2.9%)	66人 (2.7%)	41人 (1.7%)
	成人 (18歳～64 歳)	515人 (21.1%)	489人 (19.7%)	517人 (21.1%)
	高齢者 (65歳～)	1783人 (73.0%)	1842人 (74.1%)	1836人 (74.8%)

資料：R6年度真庭医療圏域救急医療体制推進協議会から抜粋(真庭市消防本部作成)

傷病程度別搬送内訳（令和4年～令和6年）

		令和4年	令和5年	令和6年	令和5年	令和5年
		人数 (割合%)	人数 (割合%)	人数 (割合%)	岡山県内人数 (割合%)	全国人数 (割合%)
救急搬送総人数		2441人	2485人	2454人	95560人	6639959人
程度内訳	軽症 (入院必要なし)	862人 (35.3%)	844人 (33.9%)	827人 (33.7%)	43372人 (45.4%)	3218832人 (48.4%)
	中等症 (~3週間未満)	1137人 (46.6%)	1219人 (49.1)	1163人 (47.4)	39491人 (41.3%)	2850622人 (42.9%)
	重症 (3週間以上)	381人 (15.6%)	358人 (14.4%)	407人 (16.6%)	10636人 (11.1%)	481993人 (7.2%)
	死亡 (その他)	61人 (2.5%)	64人 (2.6%)	57人 (2.3%)	2061人 (2.2%) (その他含む)	88127人 (1.4%) (その他含む)

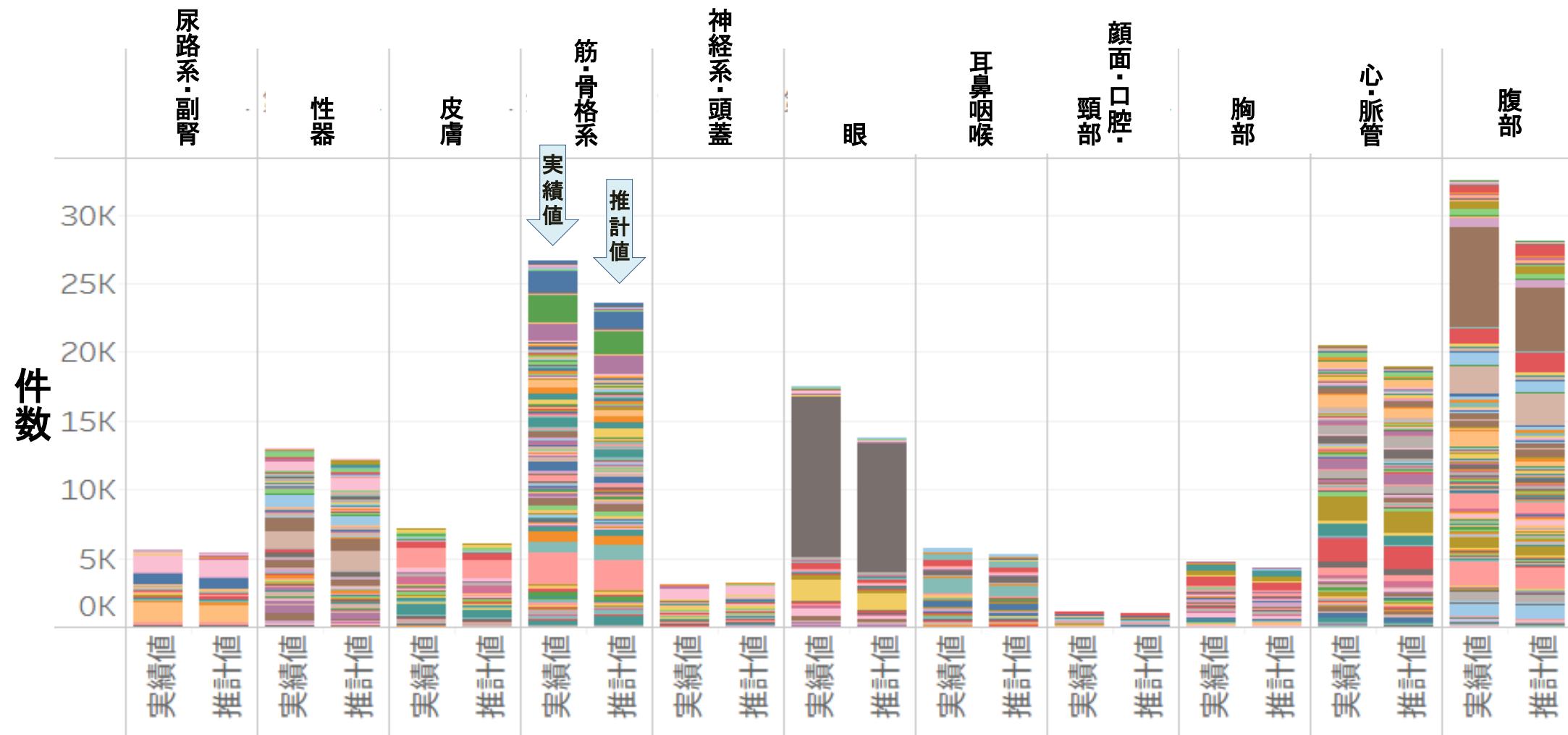
資料:R6年度真庭医療圏域救急医療体制推進協議会から抜粋(真庭市消防本部作成)



真庭圏域の医療提供実績と 医療需要の将来推計について



【急性期】NDB(R5)手術(入院)岡山県の推計値と実績値

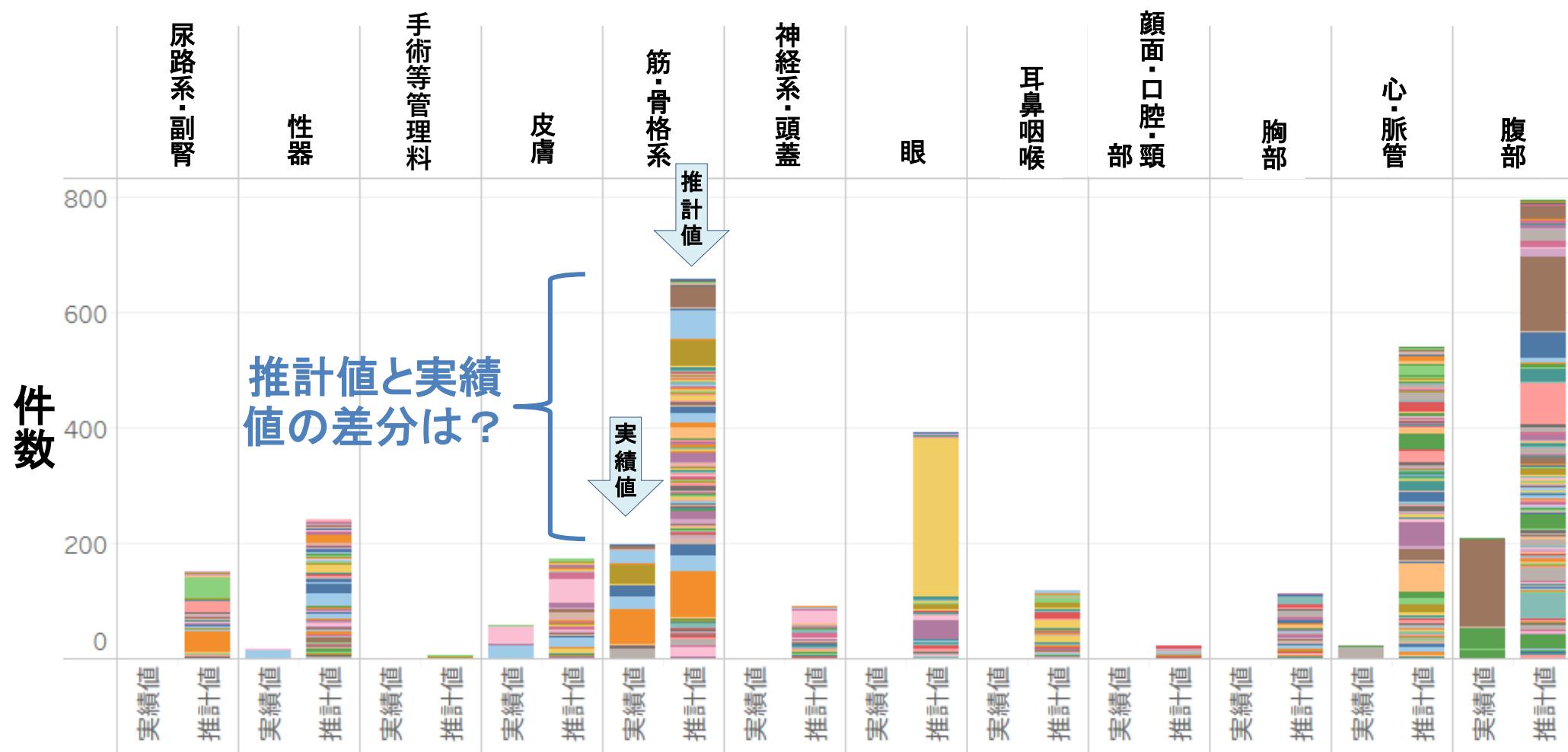


■ 分析データはTableau publicに掲載しています。

URL: <https://public.tableau.com/app/profile/16903558/viz/NDBR5K/1>



【急性期】NDB(R5)手術(入院)真庭の推計値と実績値



■ 分析データはTableau publicに掲載しています。

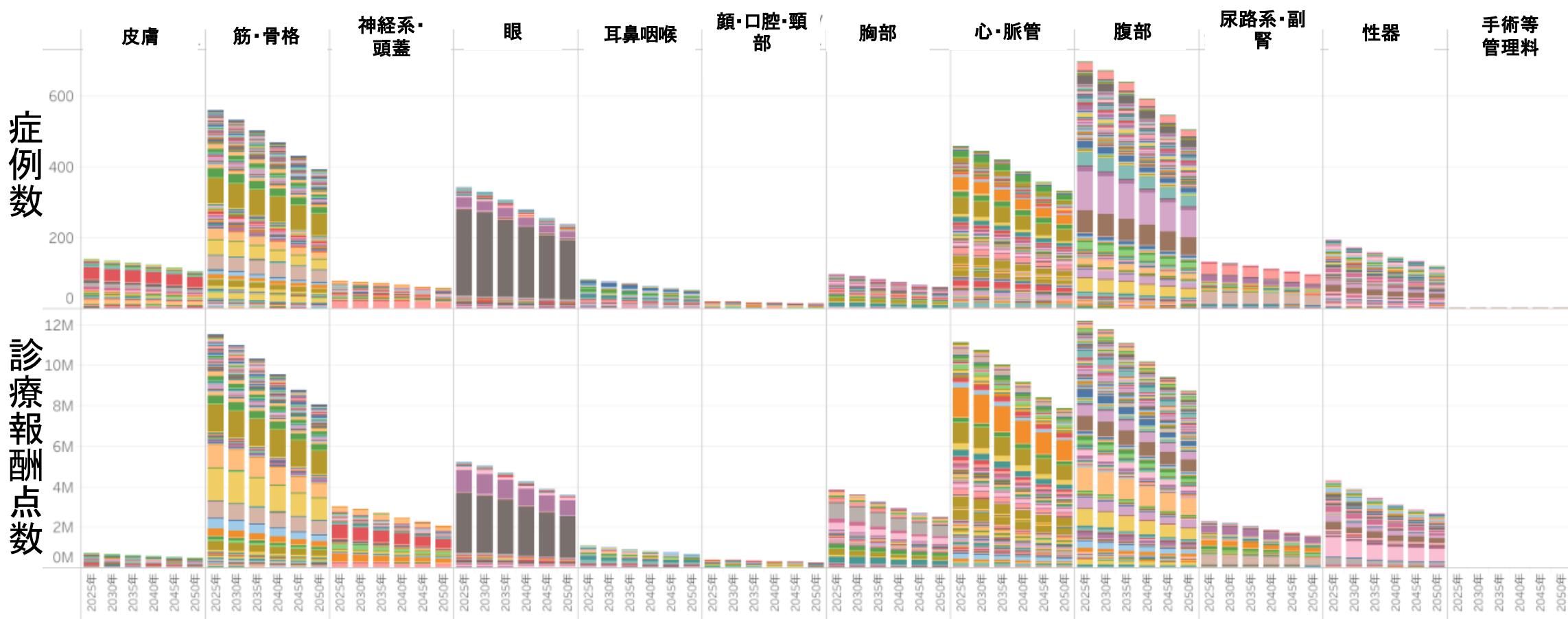
URL : https://public.tableau.com/app/profile/.16903558/viz/NDBR5K_17494480699520/2

【急性期】

真庭市2025～2050年の手術(入院)の診療行為回数の推計

市2025-2050年のK.手術(入院)の診療行為回数の推計

(4年度)のデータを基に国立社会保障・人口問題研究所の2023年将来推計人口(性年齢別階級)で調整

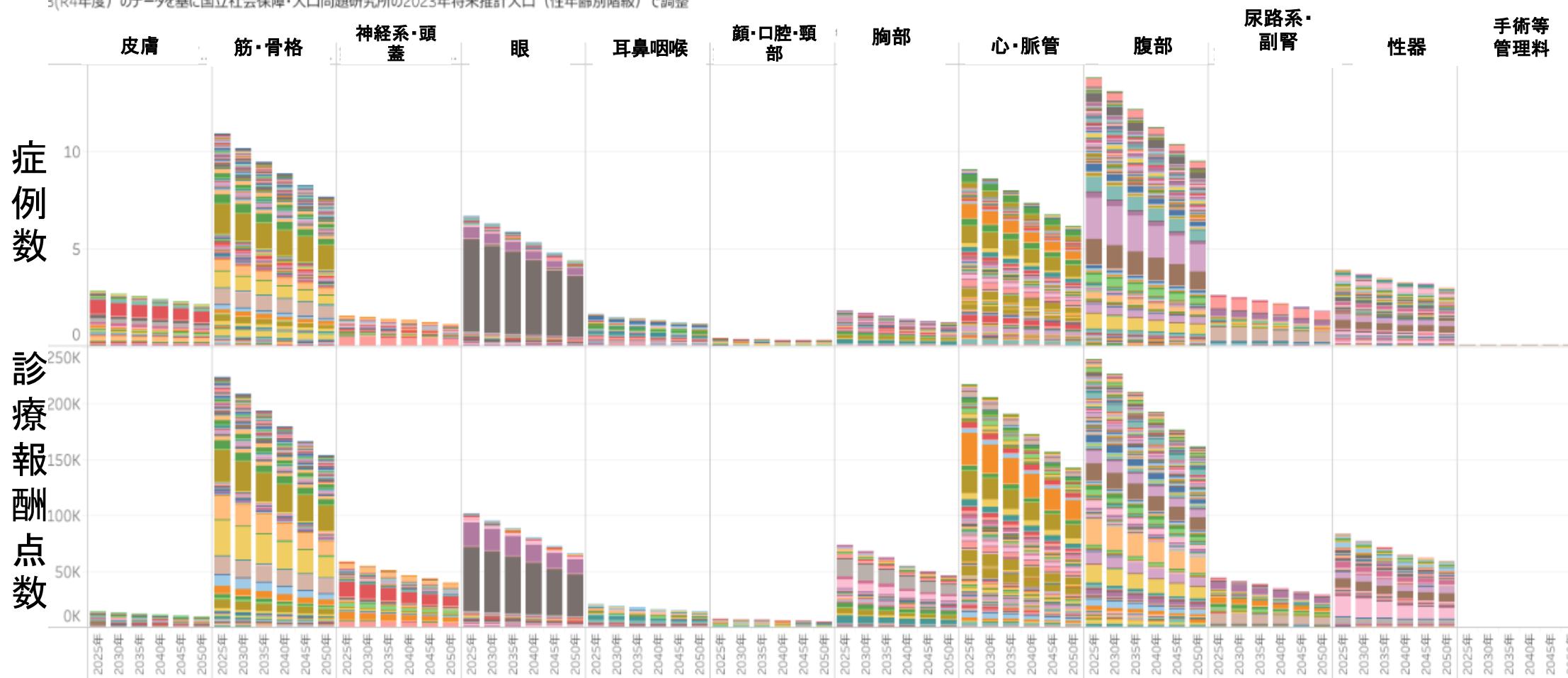


https://public.tableau.com/app/profile/16903558/viz/2025-2050K_17387340430310/1

【急性期】 新庄村2025～2050年の手術(入院)診療行為回数の推計

主村2025-2050年のK.手術(入院)の診療行為回数の推計

3(R4年度)のデータを基に国立社会保障・人口問題研究所の2023年将来推計人口(性年齢別階級)で調整

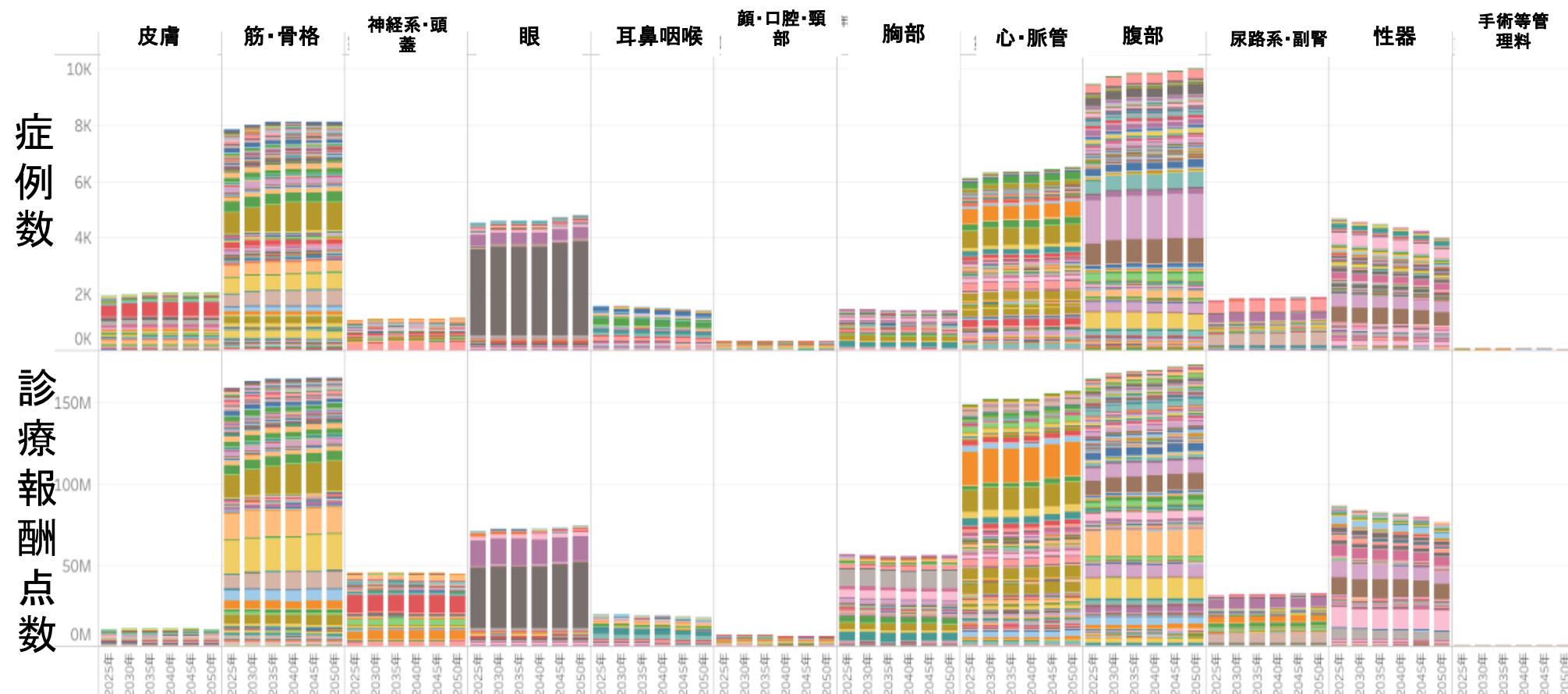


https://public.tableau.com/app/profile/.16903558/viz/2025-2050K_17387389923090/1

参考【急性期】 岡山市2025～2050年の手術(入院)の診療行為回数の推計

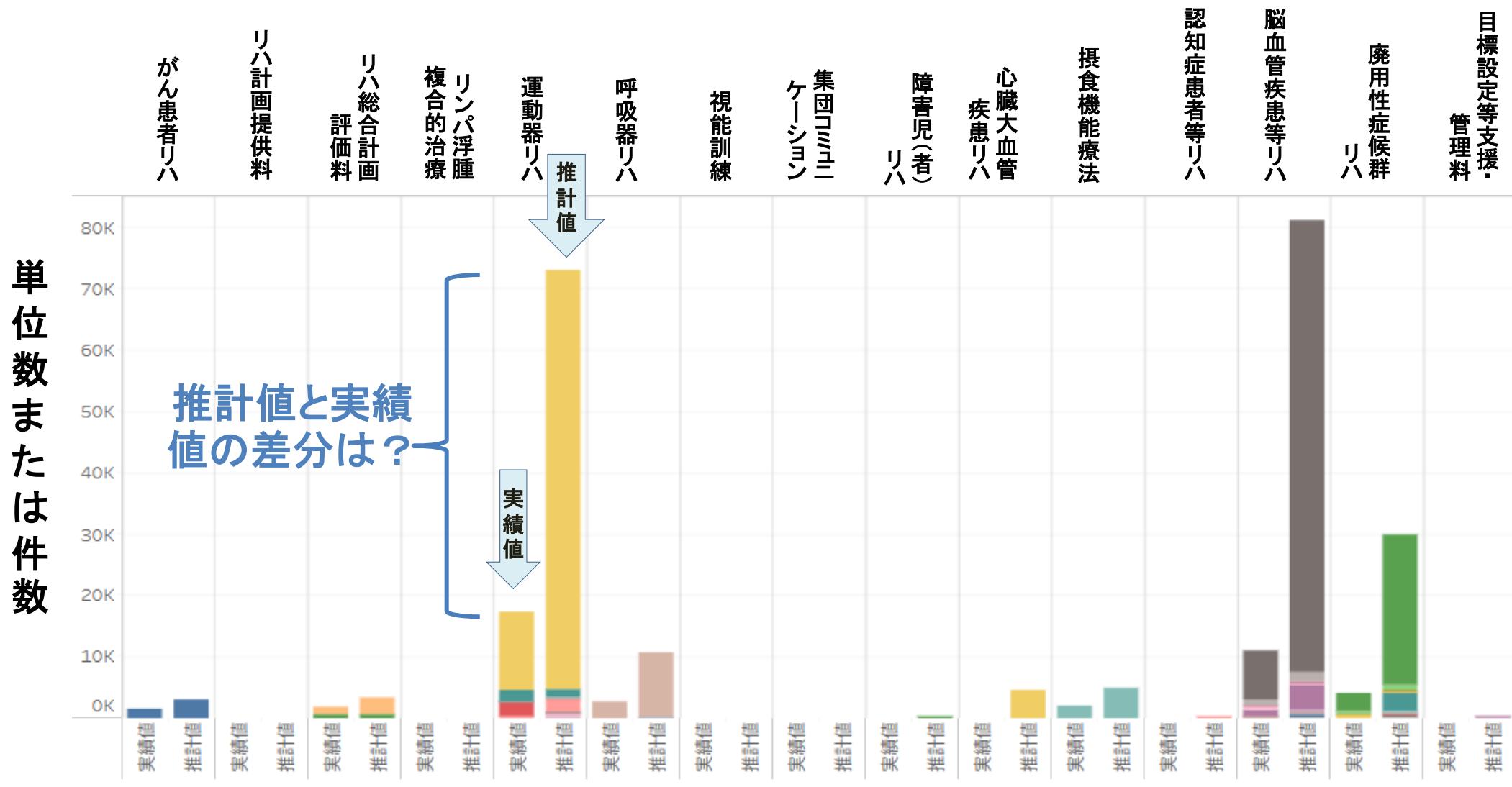
岡山市2025-2050年のK.手術(入院)の診療行為回数の推計

(R4年度)のデータを基に国立社会保障・人口問題研究所の2023年将来推計人口(性年齢別階級)で調整



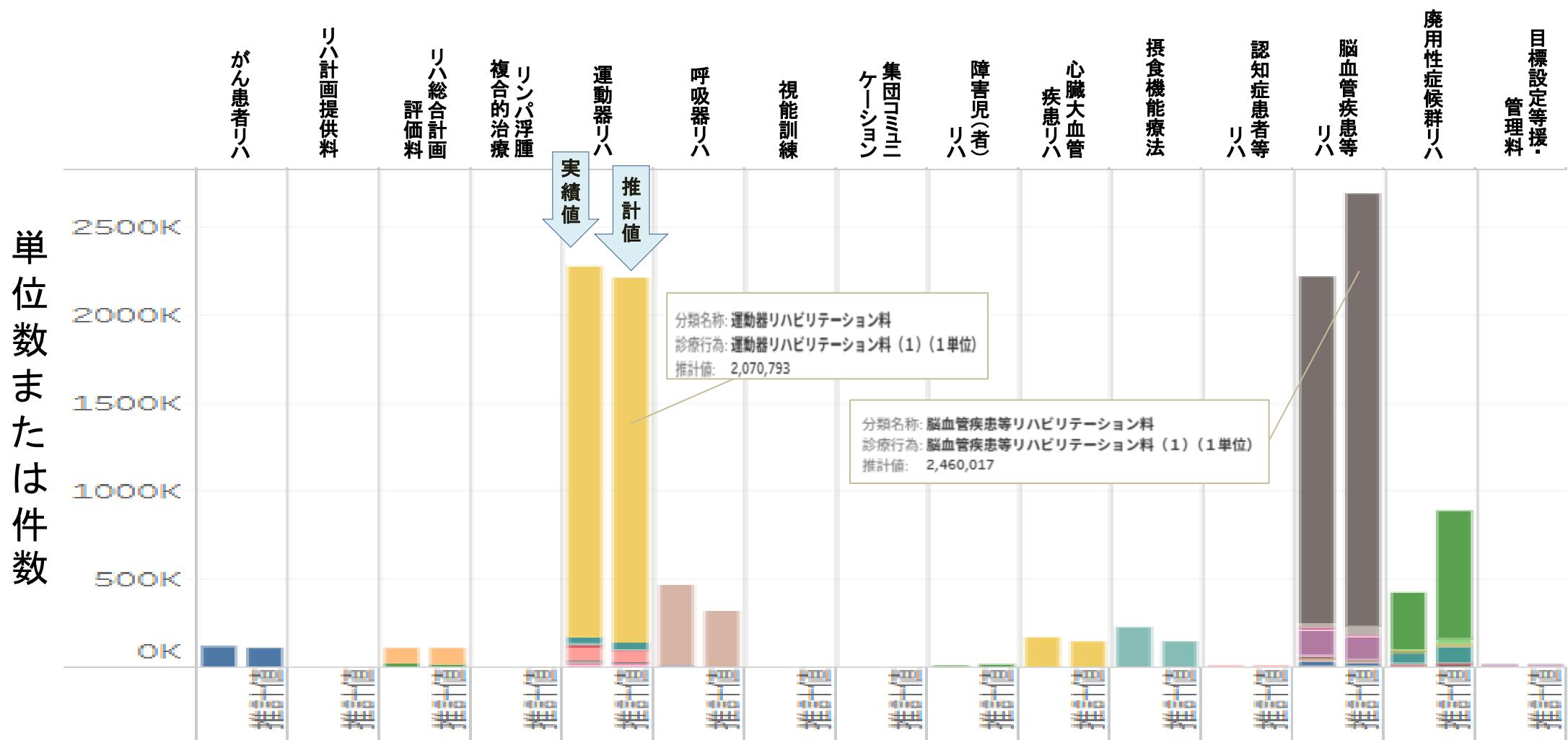
https://public.tableau.com/app/profile/16903558/viz/2025-2050K_17385684877040/1

【回復期】NDB(R5)リハビリ(入院)真庭の推計値と実績値



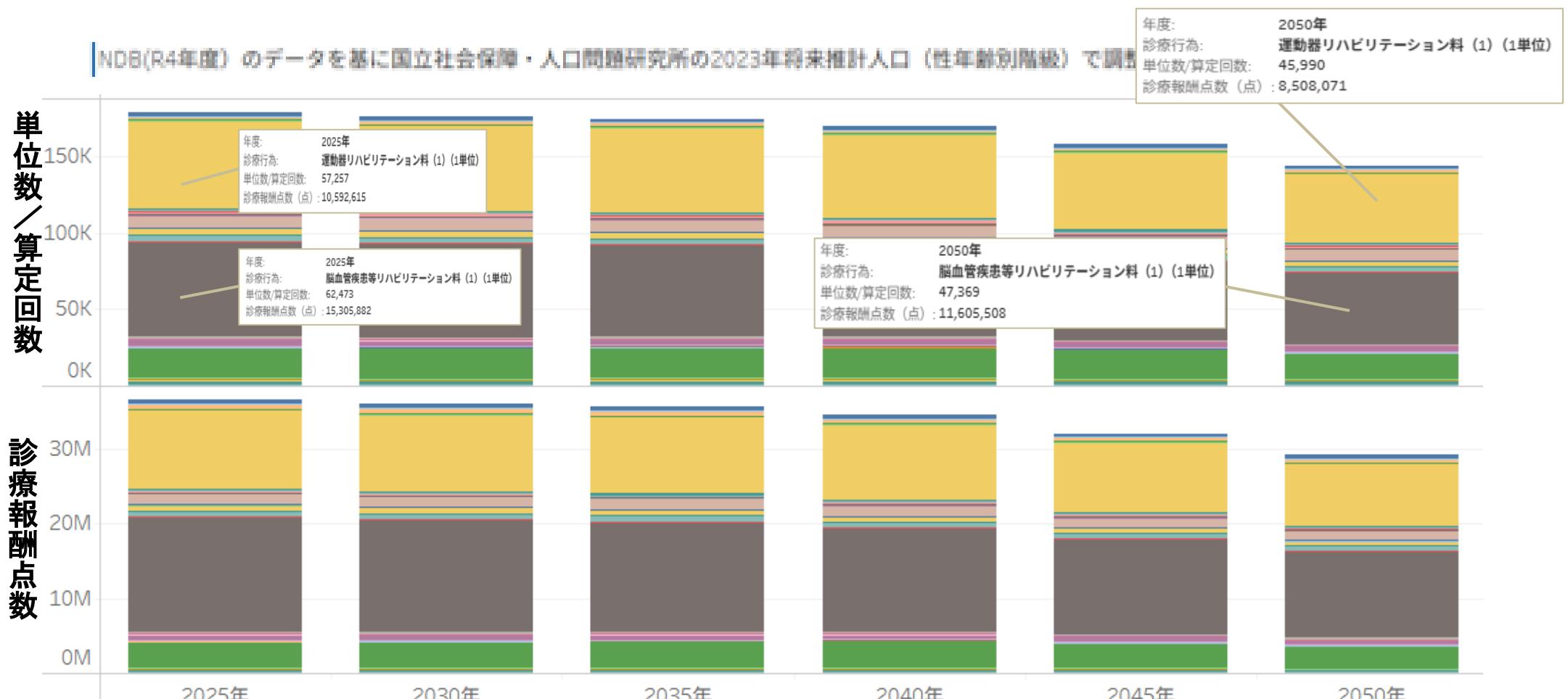
https://public.tableau.com/app/profile/.16903558/viz/NDBR5H_17495347195720/9

【回復期】NDB(R5)リハビリ(入院)岡山県全体の推計値と実績値



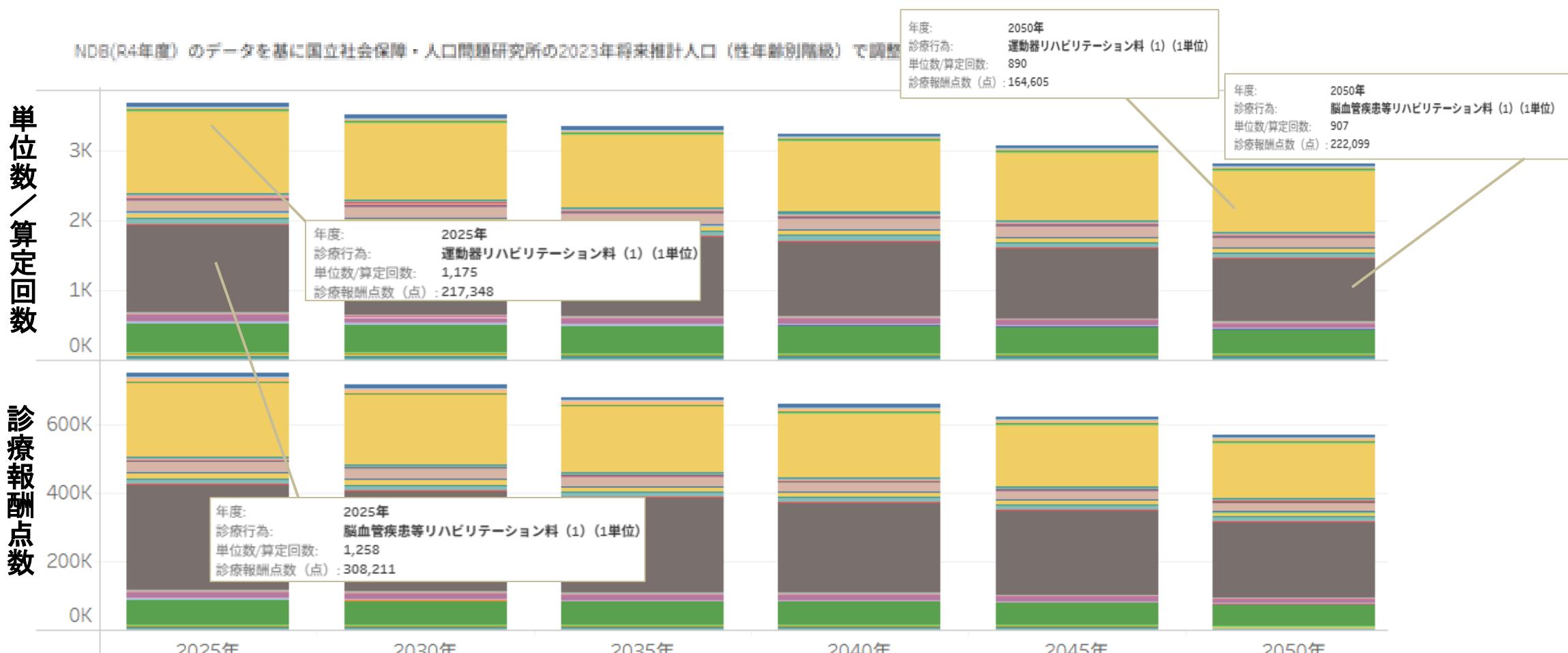
<https://public.tableau.com/app/profile/.16903558/viz/NDBR5H/1>

【回復期】真庭市2025–2050年のリハビリテーション (入院)の診療行為単位数/回数の推計



https://public.tableau.com/app/profile/.16903558/viz/2025-2050H_17395186508400/1

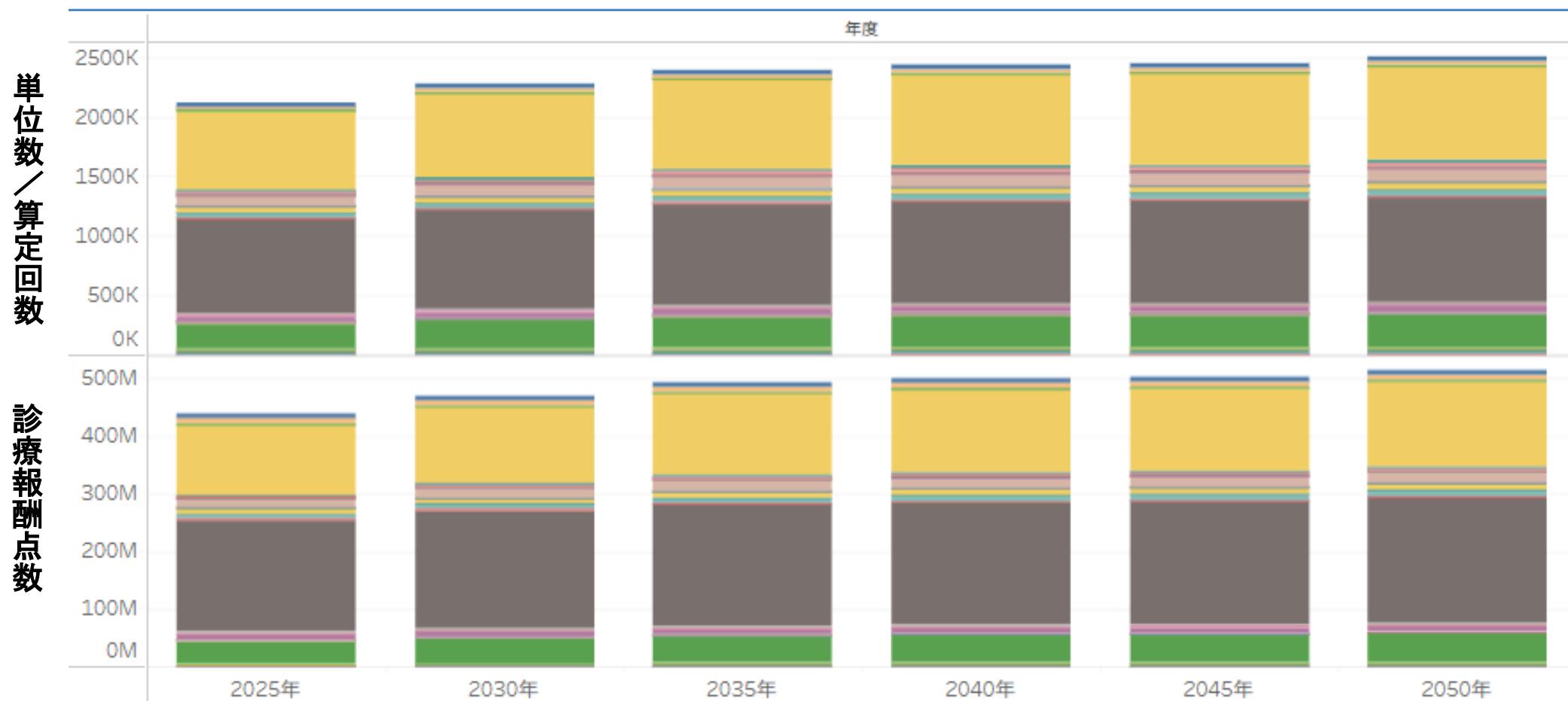
【回復期】新庄村2025–2050年のリハビリテーション (入院)の診療行為単位数/回数の推計



https://public.tableau.com/app/profile/.16903558/viz/2025-2050H_17398384641300/1

参考【回復期】岡山市2025–2050年のリハビリテーション (入院)の診療行為単位数/回数の推計

(R4年度) のデータを基に国立社会保障・人口問題研究所の2023年将来推計人口(性年齢別階級)で調整



https://public.tableau.com/app/profile/.16903558/viz/2025-2050H_17395151100710/1



医療従事者の状況

医療従事者数

(R4.12末現在)

	区分	医師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護師
真庭圏域	実数:人	75	25	75	57	12	546	89
	人口10万 対	178.5	59.5	178.5	135.7	28.6	1299.7	211.8
津山・英田圏域	実数:人	364	105	303	135	23	2,079	368
	人口10万 対	215.2	62.1	179.2	79.8	13.6	1229.3	217.6
岡山県	実数:人	6,032	1,764	4,245	1,159	560	24,654	3,641
	人口10万 対	324.0	94.7	228.0	62.2	30.1	1324.1	195.5
全 国	実数:人	327,444	105,267	323,690	60,299	38,063	1,311,687	254,329
	人口10万 対	268.3	86.3	265.3	49.4	31.2	1074.9	208.4

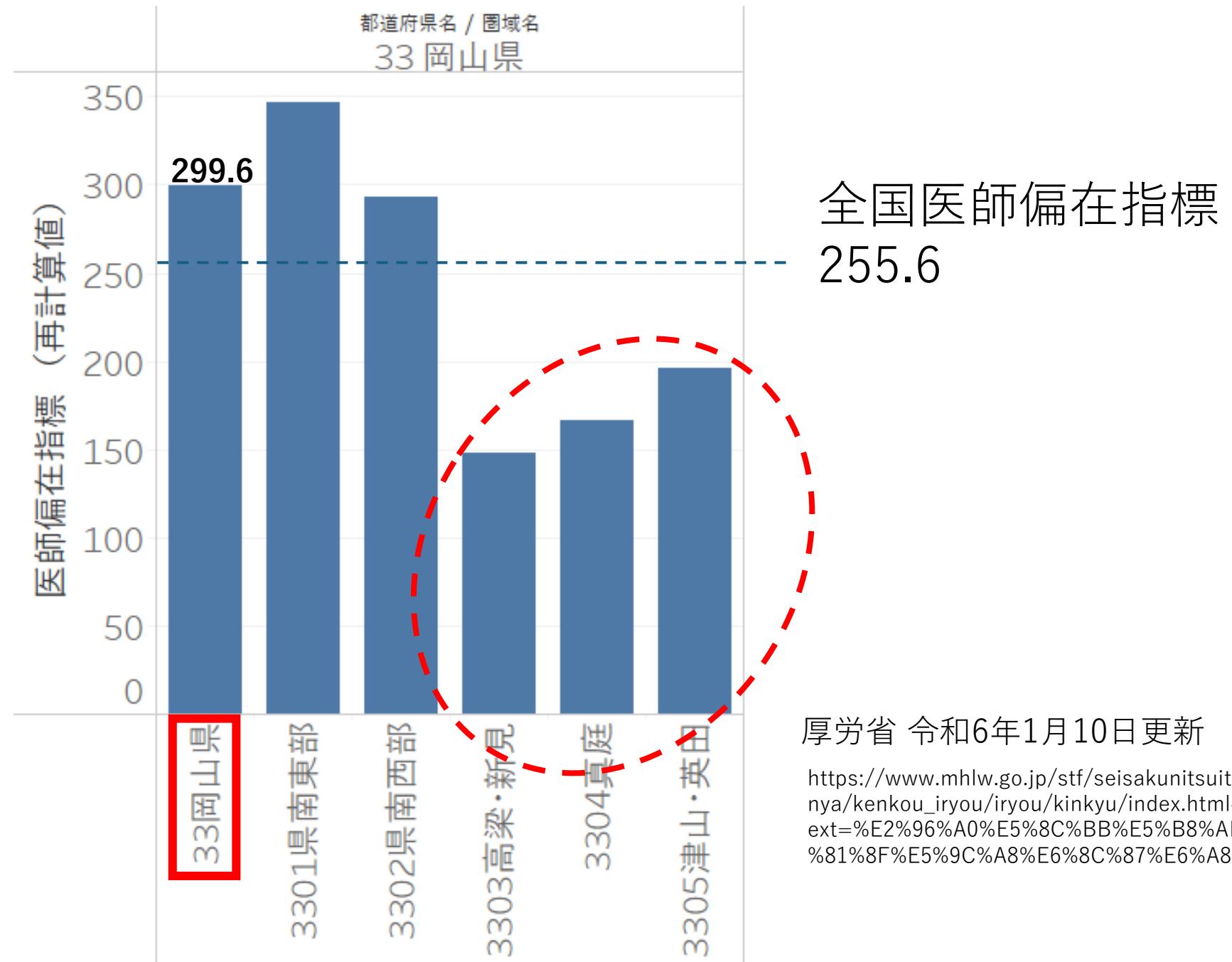
出典：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」(R4調査(R6.3.19公表))
 「衛生行政報告例」(R4調査(R5.12.21公表))

岡山県医療推進課「看護師等業務従事者届」

から作成

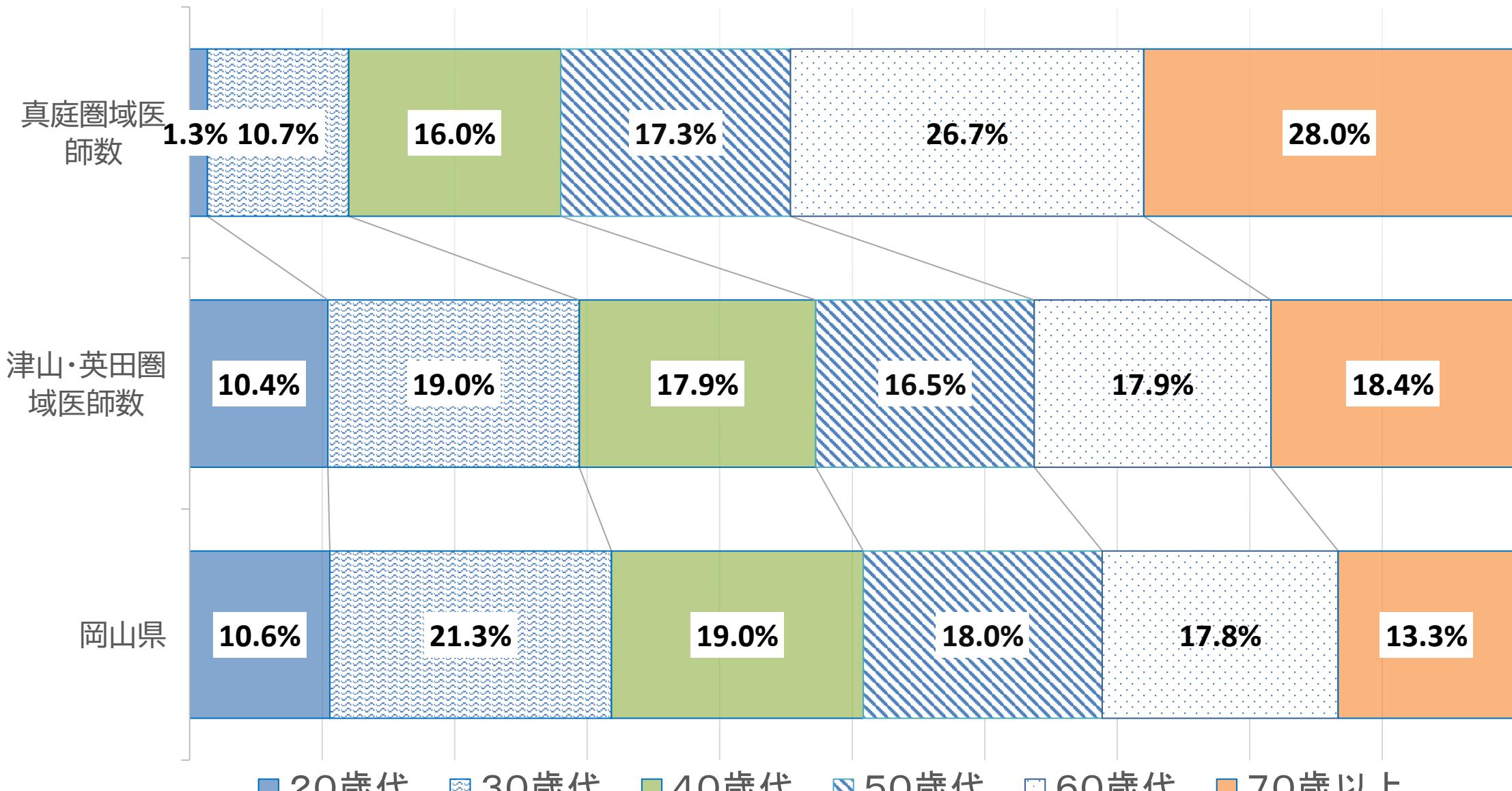
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/ishi/22/index.html>
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/eisei/22/>
https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/584866_8516630_misc.pdf

医師偏在指標 二次医療圏 (岡山県)





医療施設従事医師の年齢構成



(R4.12末現在)

出典：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」(R4調査(R6.3.19公表))

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/ishi/22/index.html>



資料_図表 33-19 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

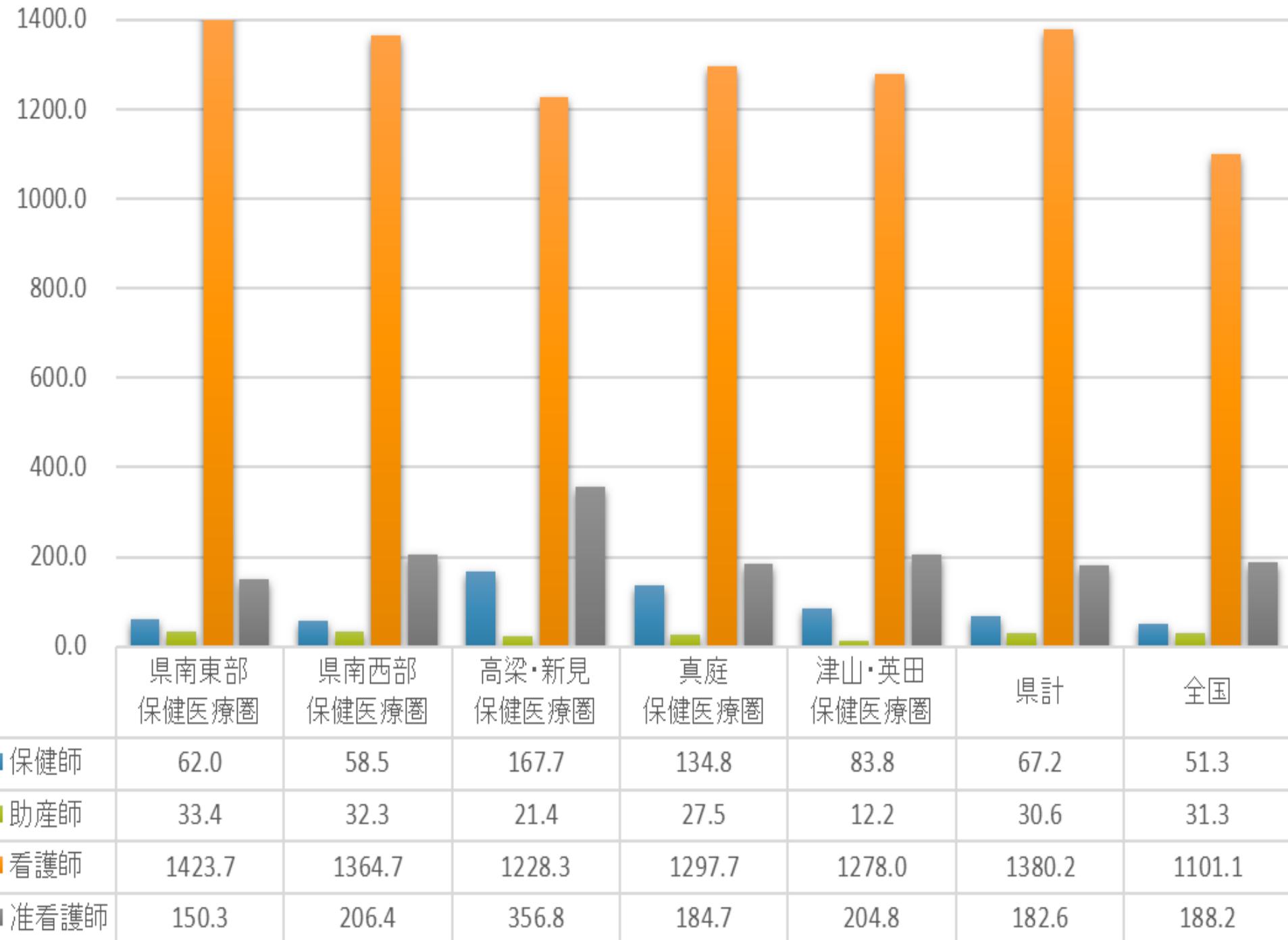
二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,164,671		923	(286)	918,226		728	(238)	246,444		195	(75)
岡山県	21,453	1.8%	1,136	57	17,232	1.9%	912	58	4,222	1.7%	224	54
県南東部	10,883	51%	1,187	59	8,758	51%	955	60	2,125	50%	232	55
県南西部	7,479	35%	1,072	55	6,068	35%	870	56	1,411	33%	202	51
高梁・新見	545	3%	953	51	426	2%	745	51	119	3%	208	52
真庭	468	2%	1,075	55	371	2%	853	55	97	2%	222	54
津山・英田	2,079	10%	1,199	60	1,609	9%	928	58	470	11%	271	60
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

日医総研 地域の医療提供体制の現状－都道府県別・二次医療圏別データ集－（2023年4月）

<https://www.jmari.med.or.jp/wp-content/uploads/2023/07/WP472data-33.pdf>

(人)

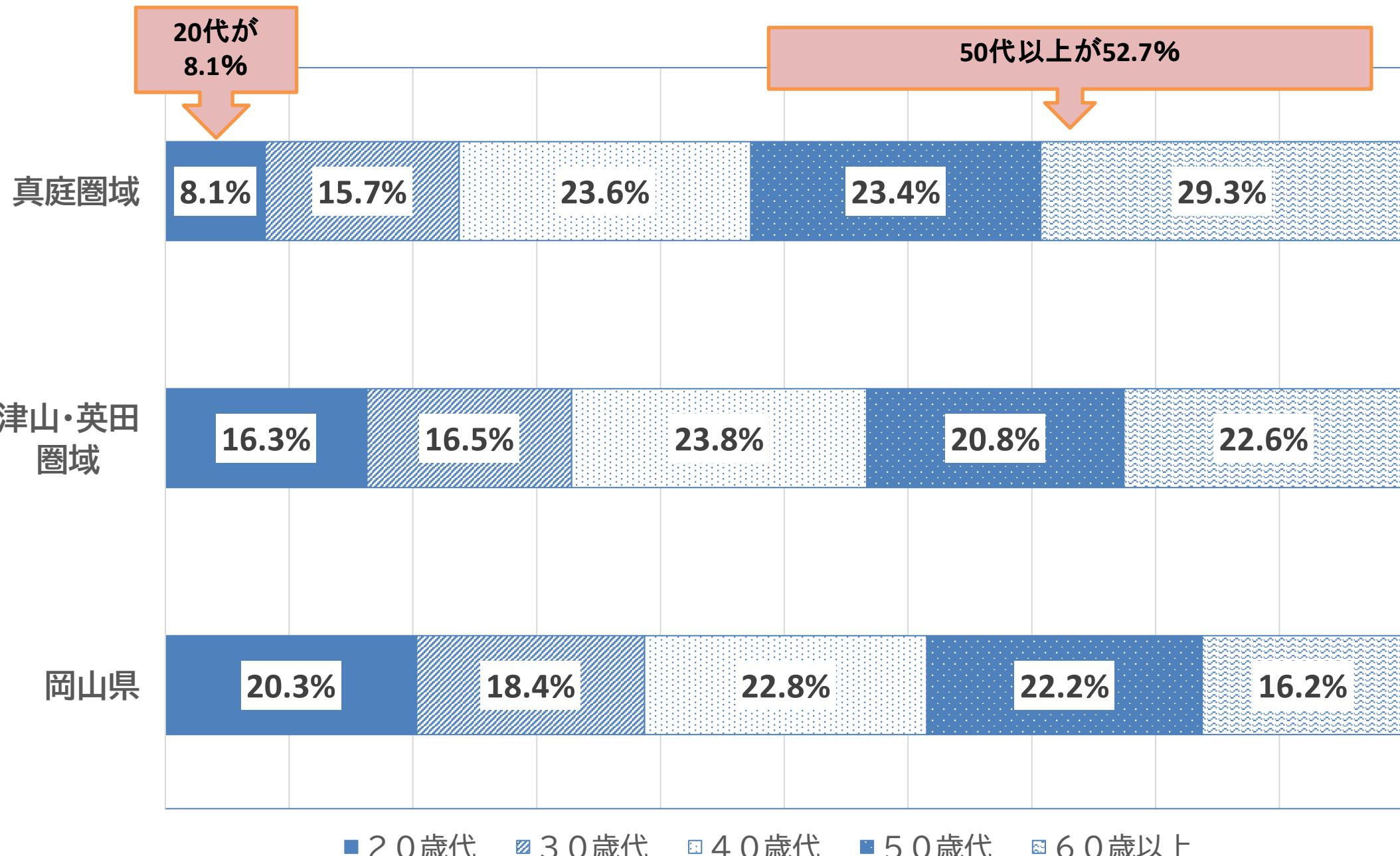
R6圏域別看護職員数（人口10万対）



資料：岡山県医療推進課「看護師等業務従事者届」(R6年12月末)



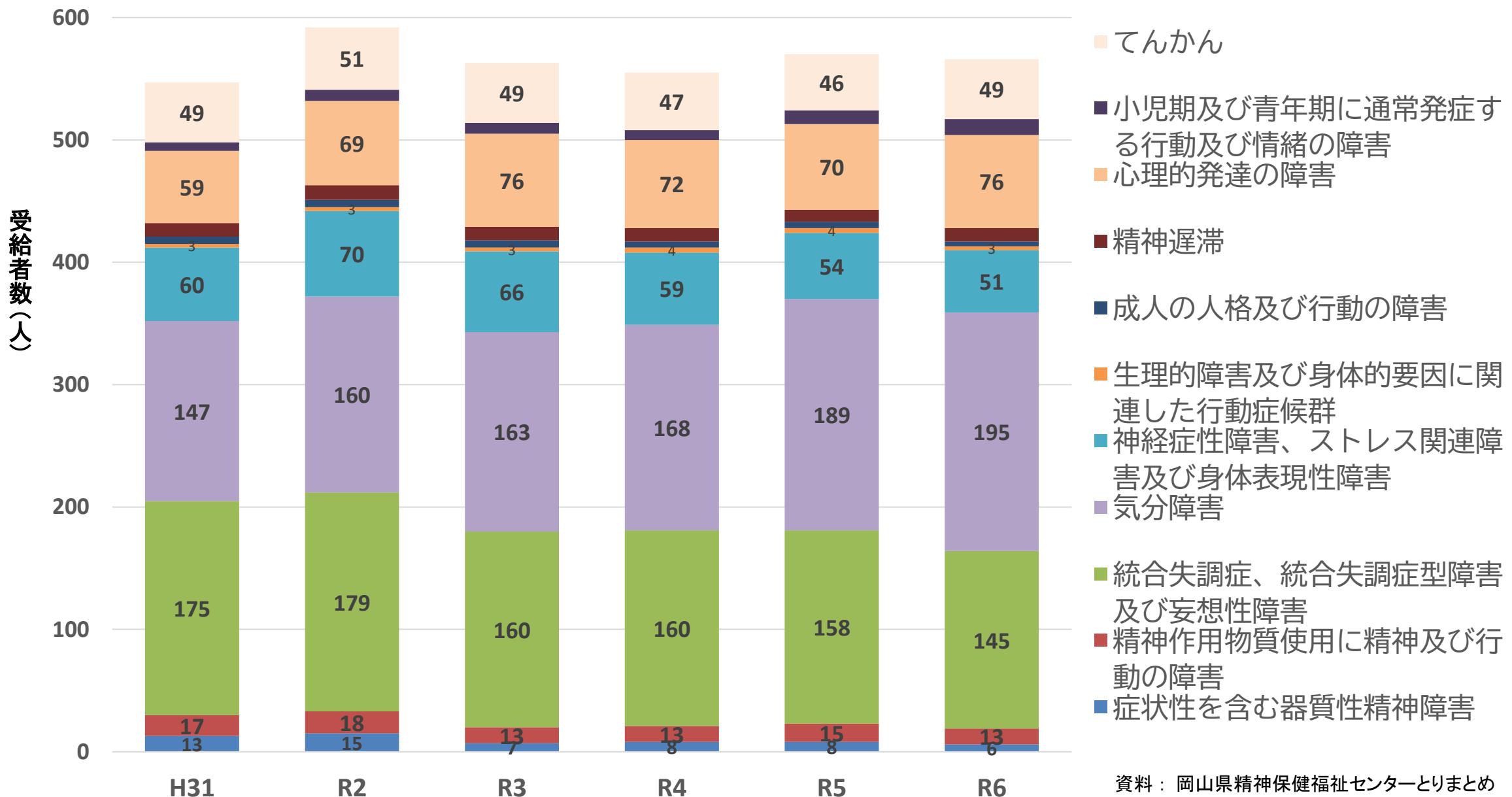
就業看護師・准看護師の年齢構成



出典:医療推進課 看護師等業務従事者届(R6年12月末)

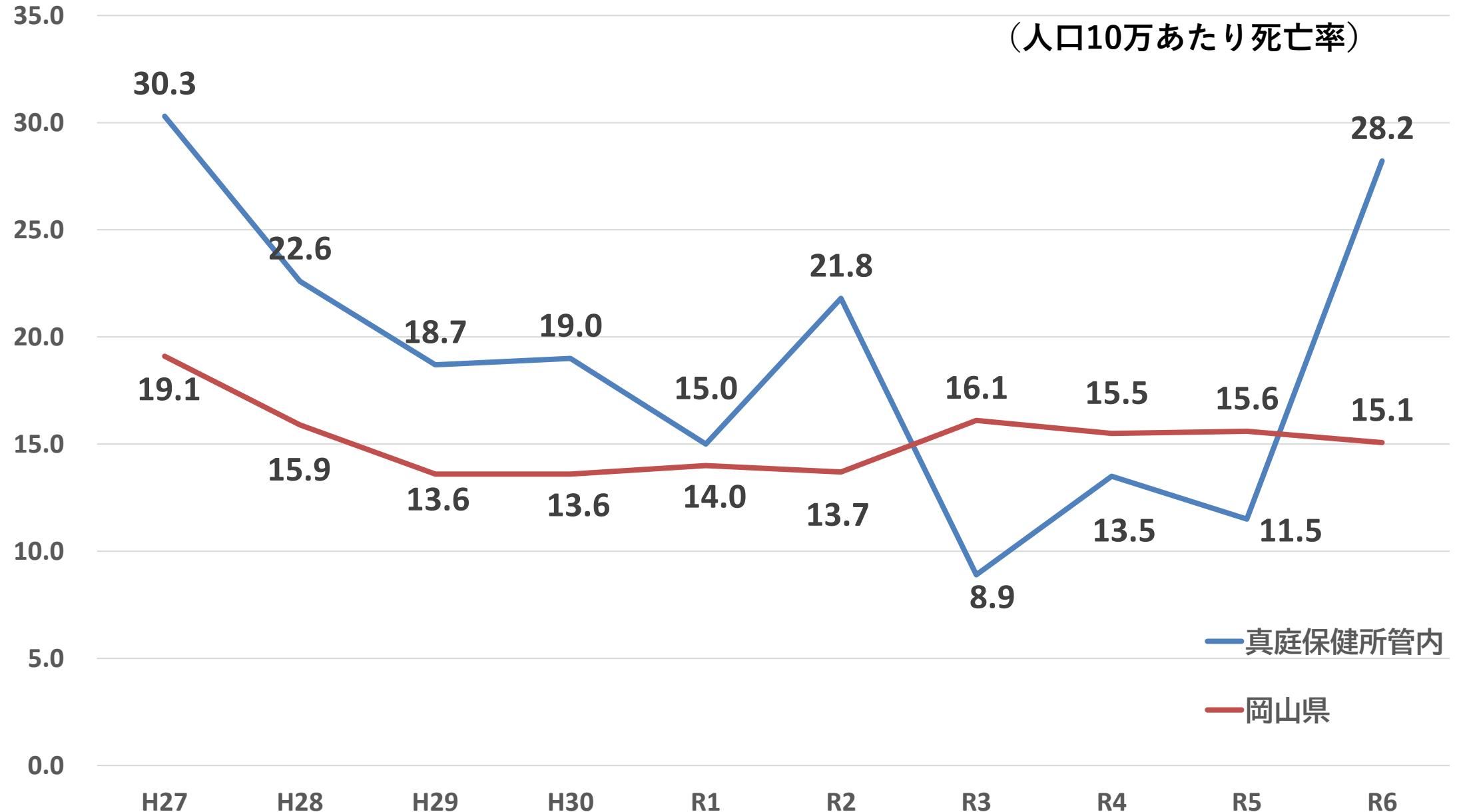
主要施策「3障害のある人の自立と社会参加の促進」に関する データ集

管内 自立支援医療（精神通院医療）受給者数の推移



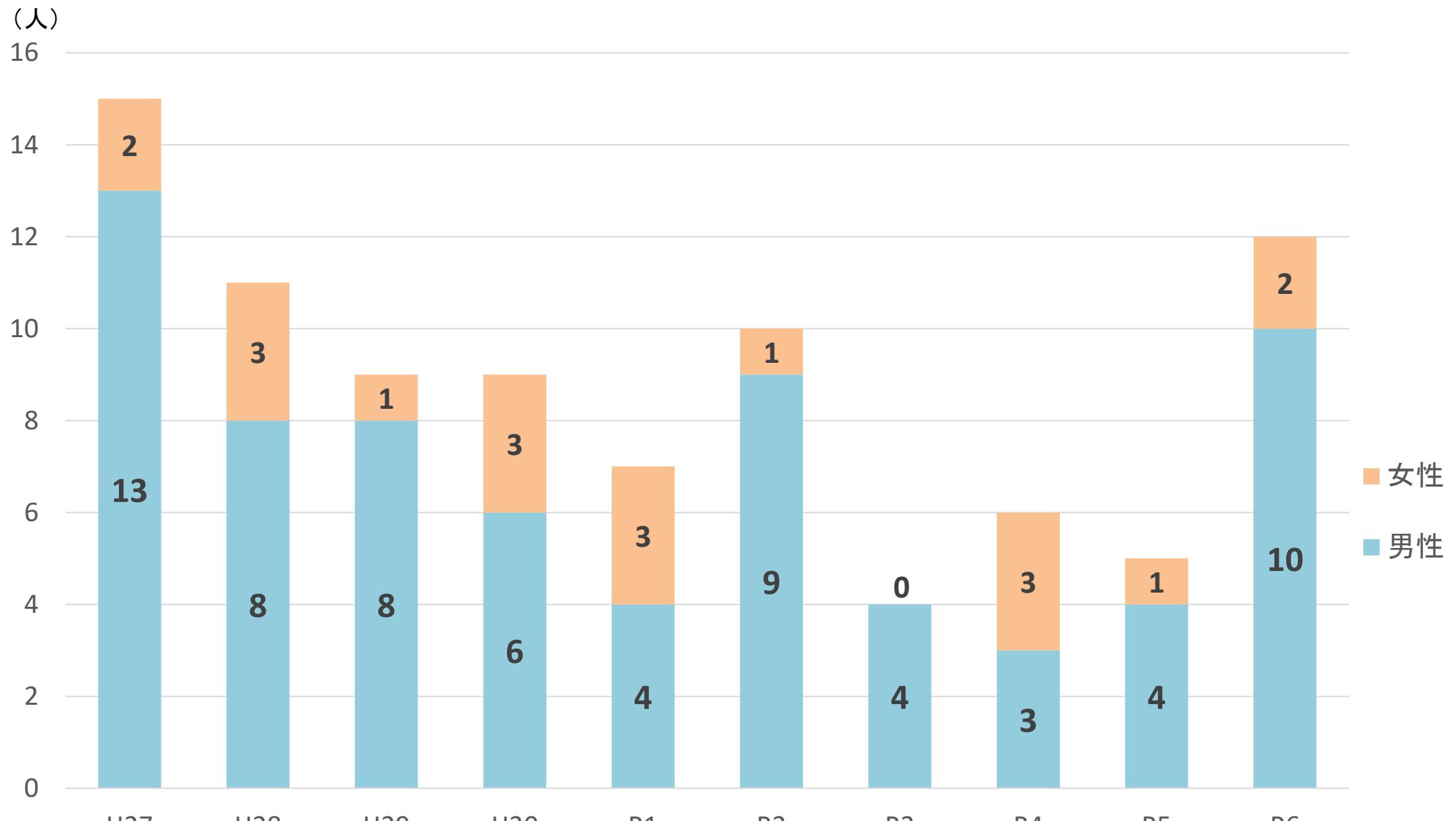
※ 自立支援医療(精神通院医療)… 精神疾患の治療のために、通院による精神医療を続ける必要がある方に対し、医療費の自己負担を軽減(自己負担割合を1割に)することを目的とした公費負担医療制度

自殺率の推移



出典：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料（自殺日・住居地）」をもとに岡山県健康推進課で作成

管内 自殺者数の推移



出典:厚生労働省「地域における自殺の基礎資料(市町村・自殺日・住居地)」

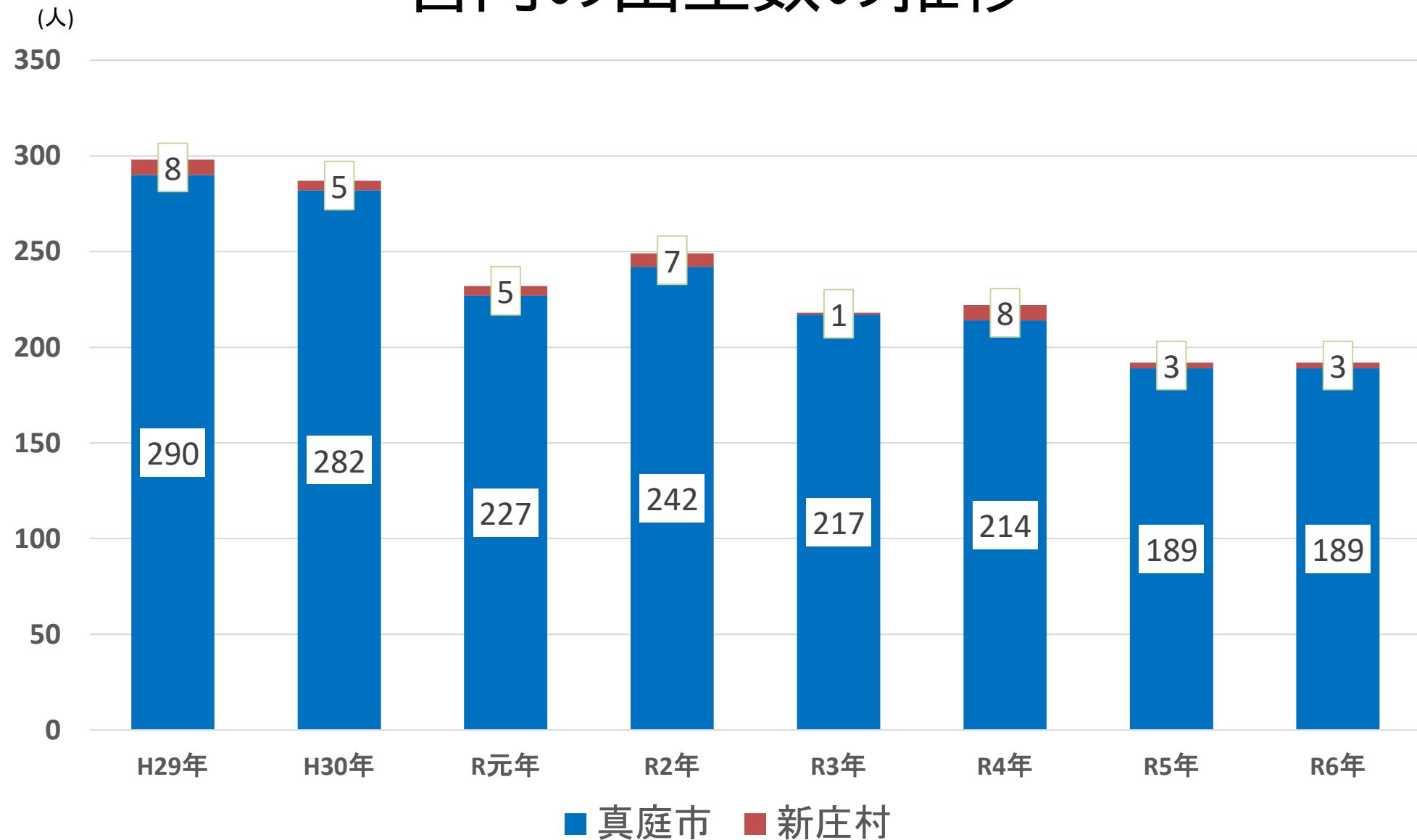
真庭保健所管内 精神保健福祉法に基づく通報件数

	一般からの 通報 (22条)	警察官から の通報 (23条)	検察官から の通報 (24条)	保護観察 所の長の 通報 (25条)	矯正設の 長の通報 (26条)	23条のうち 調査により 鑑定不要	措置 診察率	23条のうち 措置入院
R1	0	3	3	0	0	1	66.6	1
R2	0	3	0	0	3	1	66.6	1
R3	0	5	0	0	1	3	40.0	1
R4	0	0	1	0	0	0	0	0
R5	0	4	1	0	0	2	50.0	1
R6	0	4	0	0	0	1	75.0	2
R7 (R7.10 月末)	0	1	0	0	1	1	50.0	0

※ 真庭保健所における各年度の通報処理件数



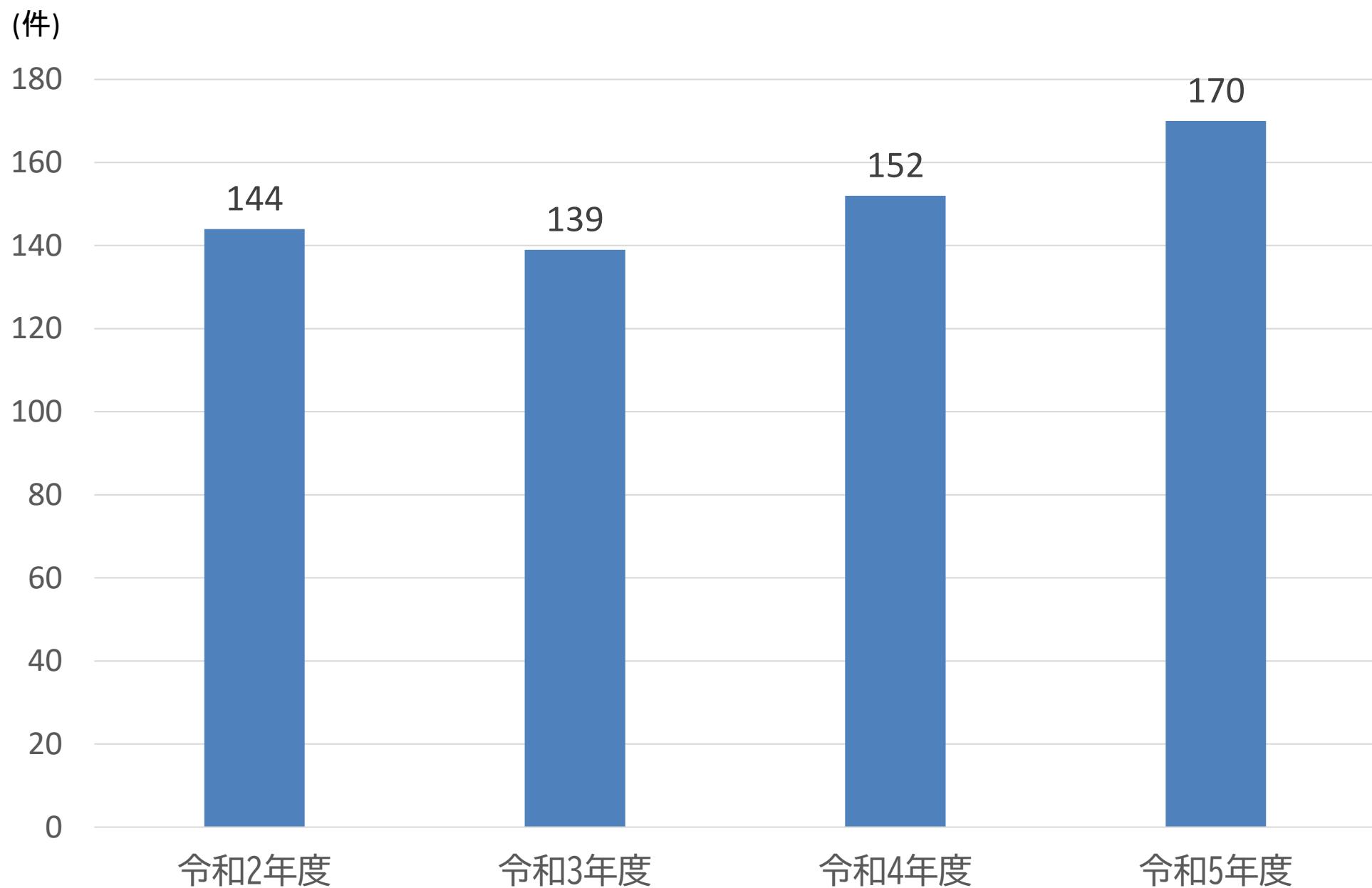
管内の出生数の推移



資料:厚生労働省 人口動態統計(H28～R5は確定数、R6は届出数)



管内産科医療機関の分娩件数の推移



※ 分娩件数… 分娩を行った患者数(正常分娩、帝王切開を含む、死産を除く)

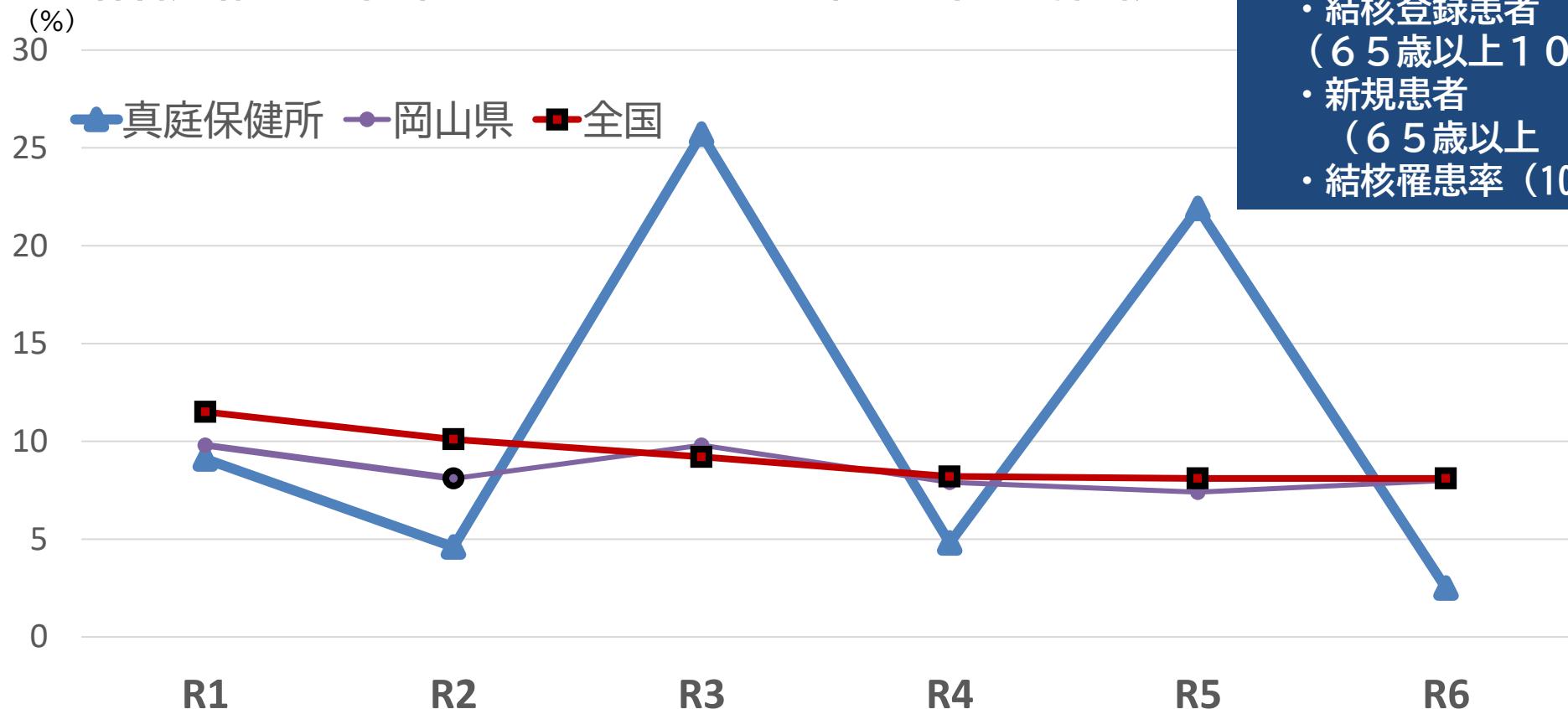
※ 資料:厚生労働省:年度別病床機能報告公表データ

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000055891.html>

主要施策「5感染症対策」に関するデータ集

結核の現状

● 結核罹患率(人口10万人対)の年次推移



【令和6年の管内の状況】

- ・結核登録患者 11人
(65歳以上10人)
- ・新規患者 1人
(65歳以上 1人)
- ・結核罹患率 (10万人対) 2.49

● 真庭保健所管内(真庭市・新庄村)の新登録患者数

(人)

R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年 (10/1現在)
4	2	11	2	8	1	1

※ 真庭保健所における各年度の発生届件数

管内の感染症発生状況

(人)

類型		感染症名	R元 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 (10/1 現在)
2		結核	4	2	11	2	8	1	
3		腸管出血性大腸菌感染症	12	1	1	1	4	1	2
4		つつが虫病	2	1	1				
4		レジオネラ症	2	1	2	1	3	1	3
4		日本紅斑熱	1				1		1
5		侵襲性肺炎球菌感染症	1					1	
5	施設集団発生報告	季節性インフルエンザ (集団発生)				2	2	1	
5		感染性胃腸炎 (集団発生)				1	1	2	1
5		新型コロナウイルス感染症 (5類移行後)						14	3

※ 真庭保健所における各年度の発生届件数

主要施策「7安全・安心な生活衛生の推進」に関するデータ集

食品衛生関係業務(令和6年度)

〈監視指導〉

区分	施設数	対象施設数
監視指導件数	1, 602	765
うち重点監視	123	97

〈食品等の試験検査〉

区分	目標件数	検査件数
収去検査	183	202
試買検査	27	27

〈食の安全に関する理解の促進〉

内容	回数	人数
食品衛生講習会	10	430
食中毒予防啓発キャンペーン	1	—
食の安全相談窓口対応件数	262	—

生活衛生関係業務(令和6年度)

〈監視指導〉

区分	施設数	監視件数
理容所	5 5	2 2
美容所	1 1 1	4 4
クリーニング所	2 8	1 4
公衆浴場	3 8	1 2
旅館業	1 4 0	3 8
住宅宿泊事業	7	1
遊泳用プール	5	8
温泉利用施設	7 5	9

〈レジオネラ対策〉

採水施設数	検体数	検出数
9	2 8	2

〈水道施設立入調査〉

区分	施設数	立入件数
上水道	1	1
簡易水道	1 9	5

薬務関係業務(令和6年度)

〈監視指導〉

区分	施設数	監視件数
薬局・医薬品販売業	285	369
毒物劇物販売業	38	36
麻薬関係施設	46	29

〈住所別献血者の人数〉

200mL献血	400mL献血	成分献血	計
2	1,084	260	1,346

〈覚醒剤等薬物乱用防止対策事業〉

○令和6年6月14日(木)

真庭高等学校において、生徒も参加して、登校中の生徒に対して薬物乱用防止を呼びかけ、啓発資材を配布

真 庭 保 健 課

主要施策1

「地域における医療提供体制の整備」

主な取り組み

① 地域医療構想の推進

人口減少や超高齢化が進んでいく中、今後の医療需要に的確に対応していくため、医療提供体制の確保について協議を進める必要がある。

<取り組み>

- 地域医療構想調整会議での協議
 - ・現行の地域医療構想（～R7）を踏まえ、各医療機関の病床機能や必要病床数、医療機関ごとの役割分担等
 - ・**新たな医療構想（R8～）について2040年を見据えた課題整理や検討**
 - ・地域で基幹的に外来医療機関とかかりつけ医との連携の構築

② 医療従事者の不足

圏域における医師・看護師等の医療従事者の不足及び高齢化は深刻な状況。人材確保とともに離職防止し継続して働ける環境づくりが喫緊の課題

<取り組み>

医師・看護師確保対策の推進

看護職と看護学生との交流会等、県看護協会と連携した取組の継続

③ 救急医療体制の確保

救急出動件数及び救急搬送困難事例が増加。救急医療の適正利用について住民の理解促進を促す必要がある。**真庭圏域では、管外搬送が3割。**

<取り組み>

救急医療の適正利用について医療機関や市村と連携し住民等への啓発

救急医療体制の確保に向けた課題整理・改善への取り組み

地域医療構想の推進

「真庭圏域地域医療構想調整会議」の開催

○ 目的

真庭圏域の医療体制を確保することを目的に地域医療構想の実現に向けた関係者との協議及び調整等を行う

○ 委員数 23人

○ 任 期 2年(R6.3.31～R8.2.28)

○ 開催状況

R6年度 3回 R7年度 3回開催予定

○ 主な協議事項

- ・ 圏域の医療提供体制の現状、課題
- ・ 病床機能報告制度による情報の共有 等

看護職の人材確保に向けた活動イメージ

住みたい・働きたい
真庭地域のために

看護の芽を育てる

看護職の確保

看護職員の育成・定着

キッズマニワーク
子どもたちへの
職業体験イベント

地域活動

看護就職フェア
真庭地域で働く魅力発信
新人・潜在看護職の掘り起こし
看護学生への病院等説明会

看護職体験
中学生の職場体験

ユニバーサル
スポーツ大会
ブース出展

魅力発信

ネットを活用した看護職魅力紹介
ポータルサイト、ホームページ、
MIT等を活用した看護職の魅力発信

病院見学ツアー
真庭高等学校専攻科
1年生を対象

奨学金

看護の質の向上

研修会・交流会
真庭支部研修会
看護研究発表会
3支部合同交流会
真庭看護管理者
研修会

定着促進

まにわナーシング
カレッジ
○新人、2年目、3年
目研修
○教育担当者会議

他圏域
との
交流会
次期
リーダーの育成

横の
つながり

体制整備

看護協会真庭支部との連携・組織強化
市議との意見交換会、他団体との連携

医療機関

行政

看護師養
成学校

真庭地域看護師確保の取組（R7）

【看護協会真庭支部】への参画

- ◇看護就職フェア(就職説明会) 真庭高校 8/28
(1~3年、専攻科 計 52名)
- ◇ユニバーサルスポーツ大会(ブース出展) 10/19(日)
- ◇キッズマニワーク（子どもの職業体験イベント） 11/22（土）
- ◇まにわナーシングカレッジ
新人、2年目、3年目研修、教育担当者会議 各3回程度

参考

【真庭市】真庭市看護師等育成奨学金（R6～拡大）



主要施策2

「健康危機管理対策」



主な取り組み（美作・真庭）

① 大規模災害時における健康危機管理

近年、頻発する風水害や発生が予測されている南海トラフ地震等による大規模な災害発生時、迅速かつ適切に医療救護、公衆衛生支援活動を行う必要がある。

<取り組み>

- 平時・EMIS・防災システムの操作訓練、（地域保健医療福祉調整本部設置運営訓練）
 - ・市村、関係機関と連携した訓練

② 新興感染症等に係る健康危機管理

感染予防に関する情報提供や発生時の関係機関と連携し適切な対応、まん延防止を図る必要がある。平時から計画的に保健所の体制整備を進める。鳥インフルエンザ発生時についても迅速な対応できるようにする必要がある。

<取り組み>

- 平時・健康危機管理対策地域連絡会等による、医療機関や消防等との連携強化
 - 患者移送訓練等研修会による「感染症患者等移送ネットワーク」の強化
 - ・健康危機対処計画（R6度策定）に基づいた保健所の体制整備をはかる。高病原性鳥インフルエンザ発生時、関係機関と準備を進め迅速な対応ができるようにする。

主要施策3

「障害のある人の自立と社会参加の促進」

主な取り組み

① 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

<取り組み>

- ・精神障害者が住み慣れた地域で医療・福祉・就労等、包括的なケアが受けられるよう医療、福祉、保健関係者が地域移行推進協議会や自立支援協議会等で地域課題の共有と対策を協議するとともにケア会議等を通じて支援のネットワークづくりを行う
- ・地域移行・地域定着支援
退院に向けて入院早期から地域支援者と連携した支援
- ・精神障害者や心の健康に不安を抱える住民が早めに相談できるよう、地域支援者の対応力を向上するための研修や事例検討等の実施

② 難病・小児慢性特定疾患患者への支援

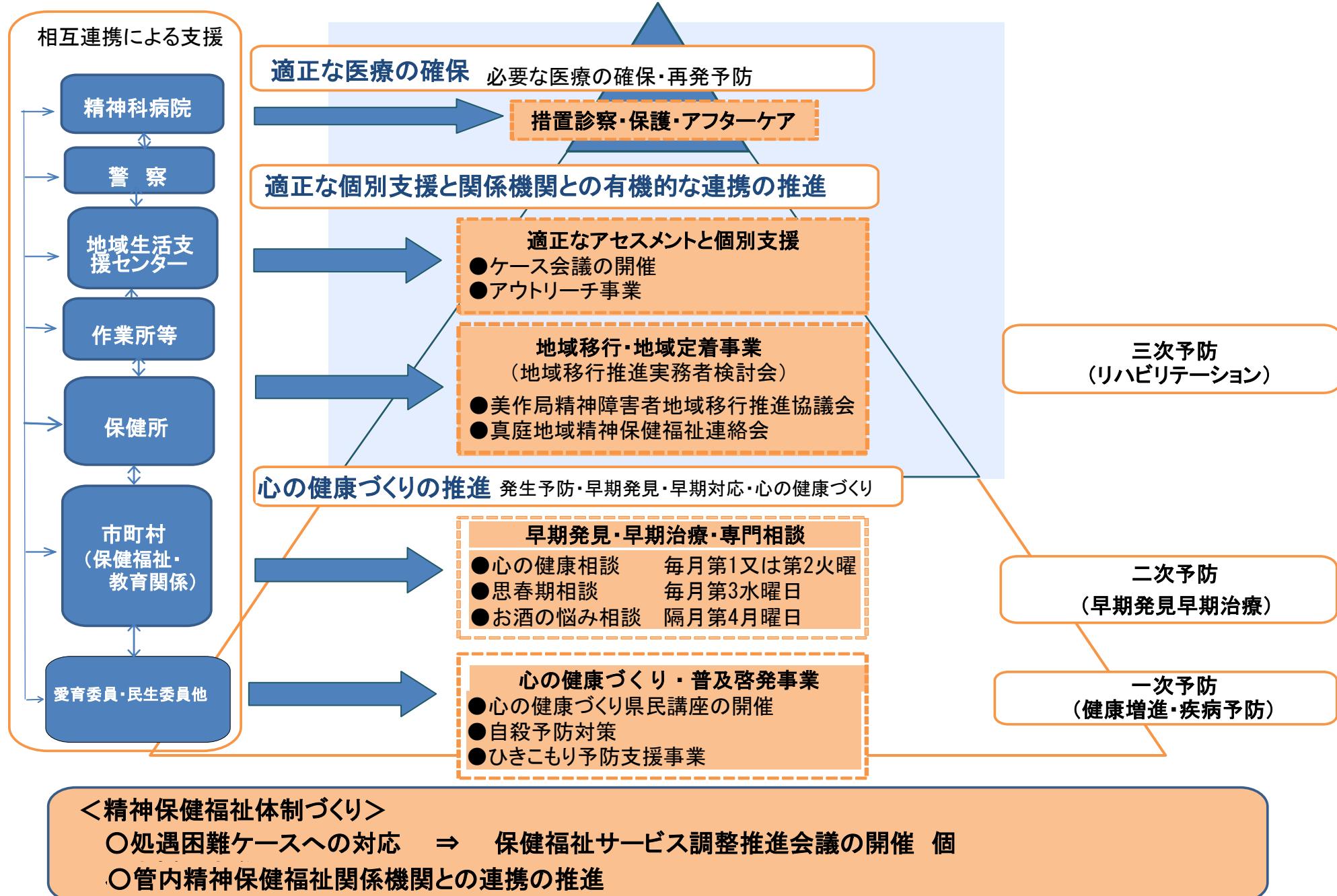
病気の特性に応じた支援が必要。医療依存度の高い患者は、大規模災害発生時ライフプランの停止等により生命の維持や在宅生活の継続が困難となるため、個別の支援策が必要

<取り組み>

災害時に備え、個別支援シート等の作成・更新及び市村関係部署との共有

真庭保健所管内精神保健福祉対策の取組

真庭保健所精神保健福祉活動の実際



精神保健福祉

1. 心の保健福祉相談

		令和6年度
心の健康相談	月1回	5回 5件
思春期心の健康相談	月1回	6回 9件
お酒の悩み相談	年6回	—

2. 精神科在宅支援アウトリーチ事業

治療継続困難、未治療等により生活に支障を来している方に対し、医師・保健師・精神保健福祉士等の多職種支援チームにより支援や事例検討を行う

		令和6年度
アウトリーチチームによる支援	実4件（継続3、終結1） ケース会議 7回	
事例検討		1件

3. 保健新による精神保健相談（訪問、面接、電話） (市村保健師等と連携した支援を中心に)

	令和6年度
訪問	実 24、延 125
面接	実 13、延 19
電話	延 344

4. 緊急対応

		令和6年度
精神保健福祉法に基づく通報		4件（23条）
通報以外の緊急対応事例		1件

精神保健福祉

6. 地域移行・地域定着支援事業

精神科病院等に入院する精神障害者の地域移行・地域定着を図るための支援体制を整備する

	令和6年度	令和7年度
美作局地域移行推進協議会	3回（企画会議1回を含む）	3回（企画会議2回を含む）
真庭地域精神保健福祉連絡会	1回	1回

7. 心の健康づくり事業

地域住民に対し、心の健康保持増進を図るとともに精神障害者への偏見解消し、住民の理解、関心を深め、地域で支えあう

心の健康づくり県民講座 令和6年度 1回 21名 (対象：新庄村愛育委員)

8. ひきこもり予防支援事業

思春期心の保健相談（月1回）※再掲、
市村と連携した個別支援（訪問、面接、電話）

9. 自殺予防対策・依存症対策

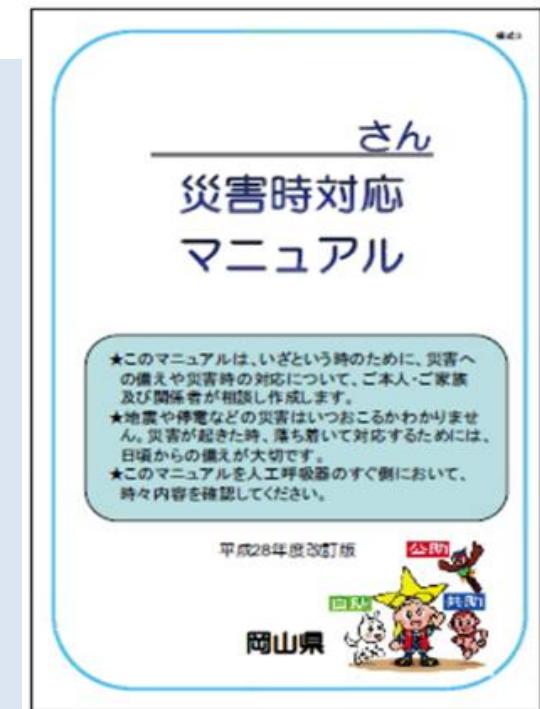
- ・市村のゲートキーパー研修会、その他、市村と連携して普及啓発活動
- ・真庭アルコールを考える会への参画等

難病患者の地域生活支援の推進

病気の特性に応じた支援が必要。医療依存度の高い患者は、大規模災害発生時ライフプランの停止等により生命の維持や在宅生活の継続が困難となるため、個別の支援策が必要

○災害時要配慮者への支援

- ・「難病患者災害時要配慮者リスト」、「難病患者災害時個別支援シート」の更新
- ・「人工呼吸器及び在宅酸素療法患者のための個別支援計画」の作成
- ・難病患者・小児慢性特定疾病児の災害時要支援者連絡会(市村との) 1回



人工呼吸器及び在宅酸素療法患者のための個別支援計画

難病対策

1. 医療費等の助成

	令和6年度
特定医療費（指定難病）受給証認定件数	384件
特定疾患治療研究事業受給者数	8件

2. 難病医療福祉相談会

令和6年度	令和7年度
9組 10名	6組 6名

3. 在宅療養支援計画策定評価事業

令和6年度	令和7年度
1回	1回

4. 在宅難病患者・家族の集い

令和6年度	令和7年度
1回 3名	1回 6名

5. 災害時支援

- 「難病患者災害時要配慮者リスト」「難病患者災害時個別支援シート」の更新

	令和6年度
災害時要配慮者リスト登録者数	29名

- 「人工呼吸器及び在宅酸素療法患者のための個別支援計画」の作成

- 難病患者・小児慢性特定疾病児の災害時要支援者連絡会

令和6年度	令和7年度
1回 (R6.10.4)	1回 (R7.11.27予定)

6. 保健師訪問・面接等相談



主要施策4

「子育て支援・少子化対策の推進」

主な取り組み

① 母子保健の推進

妊娠期から子育て期まで切れ目なく支援が受けられる体制の充実・強化

若い世代が妊娠と出産に関する正しい知識を習得し、将来のライフプランを考える一助となるよう取り組む必要がある。

<取り組み>

- ・行政と医療関係者(産科・小児科・精神科医師、助産師、精神保健福祉士、心理士等)による周産期母子関係者連絡会議等
- ・若い世代への妊娠性等の思春期健康教育(未来のパパ&ママ出前講座)
- ・発達や発育が気になる子どもに対する専門医等による相談(子どもの健やか発達支援事業)
- ・安心して妊娠・出産できる体制整備を進める。

② 市村・児童相談所と連携した児童虐待防止対策の推進

<取り組み>

- ・市村の要保護児童対策地域協議会への参画
- ・局管内要保護児童対策地域協議会連絡会議、県子ども専門本部美作支部会議への参画
- ・市村・児童相談所と連携した支援

③ 歯科保健対策の推進

- ・歯科医師会、歯科衛生士会、市村、こども園・学校等による管内歯科保健連絡会議等

真庭保健所管内 母子保健対策

個別支援（訪問・電話・ケース会議参画等）

相互連携による支援

市町村

児童相談所

医療機関

療育機関

教育機関

保健所

市町村

愛育委員・
栄養委員等

虐待群

連携による悪化防止・再発予防

育児不安・
虐待ハイリスク群

健康群

発生予防・早期発見・母子保健地域支援

・保護・指導・アフターケア

・市村や関係機関との連携による悪化防止・再発予防

○市村要保護児童対策地域協議会への参画

○困難事例ケース会議への参画

・専門的な相談や支援

●子どもの健やか発達支援事業(地域支援連絡会議)

・訪問指導等による相談・支援

●小児慢性特定疾病児への支援(面接、訪問指導等による相談・支援)

●先天性代謝異常等検査事業

・周産期医療との連携

●妊娠中からの切れ目のない支援システム

・愛育委員等健康づくりボランティアと連携した普及啓発活動

○思春期ふれあい体験学習

・思春期の健康づくり

●未来のパパ＆ママを育てる出前講座等の開催

・福祉との連携

○自立支援協議会・子ども子育て支援部会等への参画

○トータルライフ支援プロジェクト(市)への参画

・市村の相談・支援

○妊娠期からの相談支援 ○赤ちゃん全戸訪問

○各種健康診査、育児相談、要観察児教室

○臨床心理士、言語聴覚士による相談支援援助 等

◆母子保健体制づくり

- 母子保健評価事業……市村母子・歯科保健連絡会及び研修会の開催
- 切れ目のない母子支援……真庭地域周産期母子支援連携会議、美作県民局管内周産期母子支援関係者連絡会の開催
- 遭遇困難ケースへの対応……保健福祉サービス調整推進会議の開催

母子保健の推進

【母子保健の現状】

- ・市村では妊娠期から関係機関と連携した母子保健を行っている。
- ・1歳6か月児健診で約7割、3歳児健診で約6割の児が要支援児となっている。
- ・発達が気になる児がタイムリーに支援に繋がることが難しい場面があり、その一因としては、管内の療育機関や医療機関の体制に、一定の制約があることが考えられる。

○周産期母子支援連絡会議(真庭地域・美作局管内)

行政と医療関係者(産科・小児科・精神科・助産院)が一同に会し、妊娠期からの切れ目のない支援体制に向け課題共有や検討を行う。



○子どもの健やか発達支援事業

【対象】発育発達・育児環境等に課題がある親子

【内容】専門医や臨床心理士、保健師等が相談に応じ、
親子の状況に合わせた支援をする

子どもの適切な発達発育を促すとともに、保護者の育児負担等によつて生じる児童虐待を未然に防ぐ。



市村・児童相談所と連携した児童虐待防止対策の推進

【児童虐待防止対策の現状】

- ・虐待種別としてはネグレクトと心理的虐待が多い。(令和元年～令和6年)
 - ・市村、園・学校、地域住民、児童相談所等が連携して継続的な見守りを行っている。
- 市村や児童相談所と連携した個別支援の実施
- 岡山県子ども虐待専門本部会議美作地域支部会議等への参画による関係機関と対策協議

歯科保健対策の推進

【歯科保健対策の現状】

- ・むし歯有病率について、3歳児は減少傾向にあるが、小中学生は横ばい状態であり、とくに小学生は、2割以上の児がむし歯に罹患している。
- ・市村や園・学校では対象に合わせた歯科保健対策を実施している。

○令和6年度真庭地域歯科保健関係者連絡会

目的:子どもたちが幼児期から学齢期まで連動した歯科保健支援を受けることができ、発達段階に応じたセルフケア能力の向上を図る。

内容:各機関からの話題提供、歯科医師からの講話



<R7年度 真庭保健所作成>

母子歯科保健

1. 母子保健評価事業等

県内市町村データ等を活用し各市村の母子保健活動について市村とともに評価し今後の活動について検討

	令和6年度	令和7年度
市村との母子保健連絡会	真庭市・新庄村 各1回	実施予定

2. 未来のパパ&ママを育てる出前講座

中高生を対象に妊娠性をはじめ、妊娠・出産に関する正しい知識を啓発

令和6年度	令和7年度
市内4中学校 計4回	市内4中学校 計5回

3. 妊娠中からの切れ目のない支援システムの推進

行政と産科、精神科、助産所等医療関係者の連絡会を開催し、妊娠期からの切れ目ない支援体制について、それぞれの立場からの課題等意見交換し、連携強化につなげている。

	令和6年度	令和7年度
真庭地域周産期母子支援連携会議	1回	実施予定
美作県民局管内周産期母子支援関係者連絡会議	1回	2月実施予定

母子歯科保健

4. 歯科保健対策

	令和6年度	令和7年度
真庭地域歯科保健関係者連絡会	1回 14人	1回18人
管内市村における歯科保健関係者会議への参画	真庭市 2回	真庭市 1回

5. 児童虐待予防

管内市村の会議や市村や児童相談所と連携した個別支援等

岡山県子ども虐待専門本部会議、地域支部会議等への参画により関係機関と対策協議等

		令和6年度	令和7年度
管内市村の要保護児童対策地域協議会への参画	真庭市代表者会議	1回	1回
	実務者会議	21回	14回
岡山県子ども虐待専門本部会議への参画		1回	1回
岡山県子ども虐待専門本部会議美作地域支部会議への参画		1回	1回
美作地域要保護児童対策協議会への参画		1回	1回

6. 保健師による小児特定疾病児・ハイリスク母子等への支援

	家庭訪問	電話	面接	ケース会議への参画
令和6年度	16	22	33	14



主要施策5

「感染症対策」



主な取り組み

① 感染症対策

集団発生(クラスター)の予防と感染拡大防止対策

<取り組み>

各施設で感染予防や発生時の早期対応が適切に実施できるよう、感染症対応研修会の開催、集団発生時の指導、助言

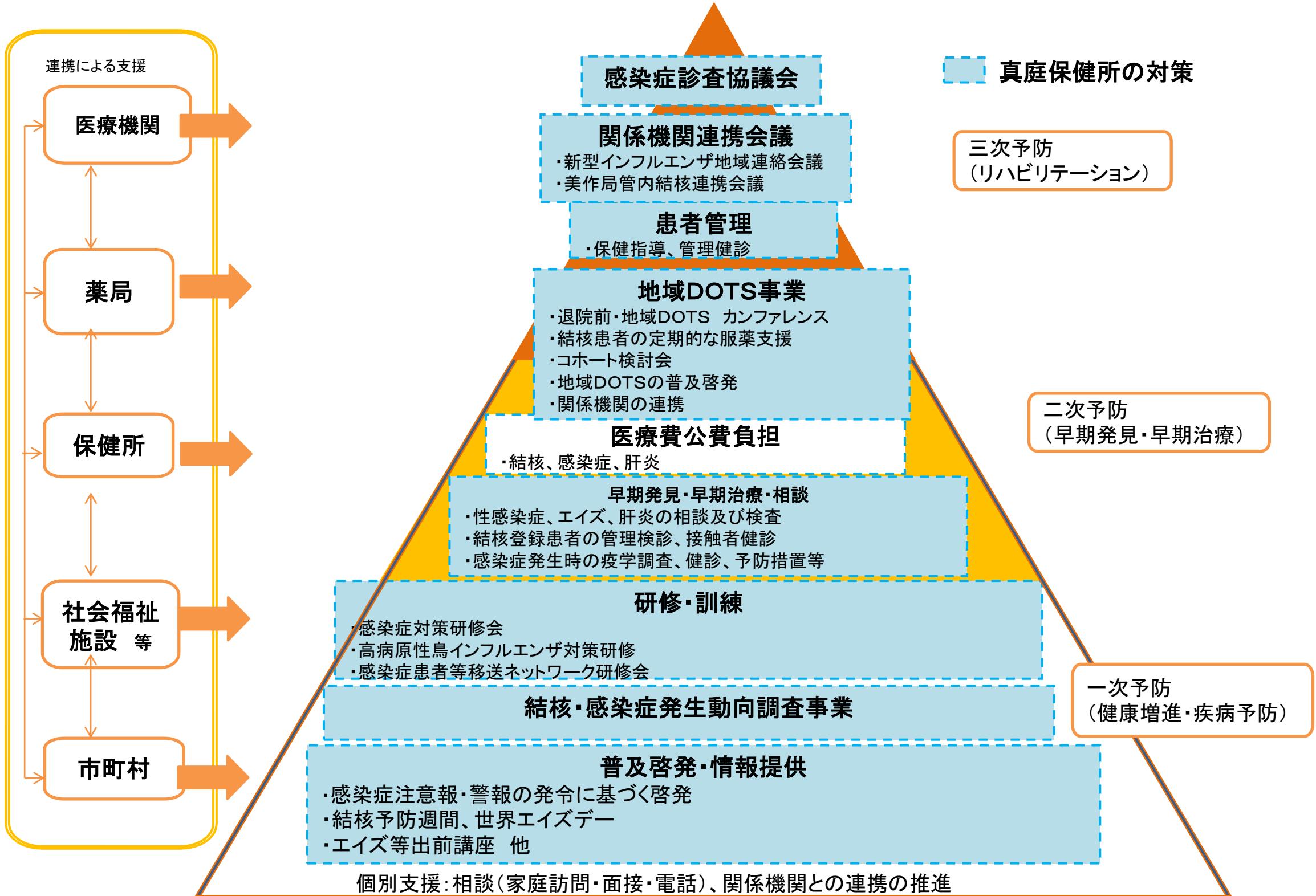
② 性感染症対策

近年、梅毒をはじめとした性感染症が増加。

<取り組み>

- ・正しい知識の普及、相談・検査につなぐため、広く啓発活動の実施、中高生等若い世代への出前講座の実施
- ・早期発見、早期治療に向けた電話相談、検査の実施

真庭保健所 感染症対策



1. 結核対策

【令和6年の管内の状況】

- | | |
|----------------|---------------|
| ・ 結核登録患者 | 11人（65歳以上10人） |
| ・ 新規患者 | 1人（65歳以上 1人） |
| ・ 結核罹患率（10万人対） | 2.49 |

○ 感染症診査協議会結核部会

毎月第2・4火曜日（美作保健所）

○ 地域DOTS推進事業

医療機関等と保健所が連携して結核患者の服薬を支援することにより、治療の完遂を図るとともに、薬剤耐性結核菌を防止し結核のまん延防止を図るために地域DOTSを行っている。

- ・ 退院前・地域DOTSカンファレンス
- ・ 定期的な服薬支援
- ・ コホート検討会 令和6年度 3回
- ・ 岡山晴れ晴れDOTS手帳の活用

感染症対策

2. 性感染症対策

- 早期発見・早期治療・相談（エイズ・肝炎等）
 - ・ 健康相談 毎月第3火曜日
 - ・ 夜間エイズ検査 6月（HIV検査普及週間）
12月（世界エイズデー）

- 普及啓発・情報提供
 - ・ エイズ等出前講座
 - ・ HIV検査普及週間、世界エイズデー啓発

3. その他の感染症対策

- 感染症法に基づく対応

○ 研修・訓練

- ・ 感染症対策研修会
施設職員を対象に感染予防、発生時の対応について
講演及び吐物処理の実技演習を実施
- ・ 感染症患者等移送ネットワーク研修会
消防署と連携し、感染症患者移送についての情報共有、
防護服着脱訓練を実施 令和6年度 参加者23名

	令和6年度
エイズ相談	3件
HIV抗体検査	2件
性感染症検査（梅毒）	2件
性感染症検査（クラミジア）	2件

令和6年度	令和7年度
勝山高校蒜山校地 18人	真庭高校 190人 勝山高校蒜山校地 29人
	勝山中学校（予定）

	令和6年度
感染症発生件数 (二類を除く)	三類 1件 四類 1件 五類 2件
施設内集団感染対応等	18件

令和6年度	令和7年度
1回	1回
36人	58人



主要施策6

「健康づくりの推進」

主な取り組み

① 健康な生活習慣の定着促進

- ・若い世代からの健康な生活習慣の定着に向け、愛育・栄養委員、学校等と連携した活動
- ・食育推進協議会を通じて、子どもから高齢者まで各組織が連携した食育推進活動に取り組む

② たばこ対策の推進

- ・喫煙年代前の年代へ、たばこの害について啓発、出前講座の実施
- ・敷地内全面禁煙や屋内禁煙が進むよう事業主・団体への周知、受動喫煙防止に関する相談や改善指導等

③ 糖尿病等重症化予防対策の推進

保健所国保ミーティング等各市村の課題共有、特定健診受診率や特定保健指導実施率の向上、糖尿病重症化予防に向けた取り組みの推進等市村と協働した今後の方策を検討

④ 愛育委員・栄養委員（健康づくりボランティア）との協働

- ・委員が活動の意義を理解し、やりがいを感じながら活動できるよう市村と課題共有した組織育成
- ・活動が継続できる組織づくりに向け、市村支援
- ・がん検診などの早期発見、早期予防の取り組みの促進

健康づくり

「第3次健康おかやま21」

【計画改定の趣旨】

子どもから高齢者まで、すべての県民が、健やかに心豊かな生活を送るために、主に保健施策の観点から、県や市町村、県民、関係者が、目指すべき方向と基本的施策を明示する「第3次健康おかやま21」を策定。

【計画の期間】：令和6年度から令和17（2035）年度までの12年間

すべての県民が健康で生きる喜びを感じられる
長寿社会の実現

目的を共有しそれぞれの役割に応じた事業の推進
(地域・家庭・学校・職域等)

市町村

地域の実状に応じた
保健事業
すべての住民が健康
づくりに取り組むことが
できる環境の整備

県・保健所

健康に関する調査・分析
市町村の健康づくり推進支援
関係団体等との連携
広域的・専門的保健事業

関係団体

健康づくり活動への
積極的な参加と支援

ヘルスプロモーションの推進

真庭地域食育推進協議会の活動の広がり



<令和7年度第1回協議会 (R7.6.19) >

話題提供

「真庭地域の目指す食育の姿とこれまでの協議会の取組について」

「真庭地域の食と健康の課題について」

意見交換

「食育の取組の視点を取り入れた活動を考える～家庭への波及をねらって～」

【意見交換で出た意見】

☆真庭地域の魅力である「人とのつながり」を大切に

☆家庭でも話し合うこと

真庭地域の様々な団体と連携を深め、真庭地域での取組を広げていきたい

※第2回協議会では各団体の今年度の取組を共有する予定

たばこ対策の推進

・たばこからの健康影響普及講座

目的：若い世代を対象にたばこの害の普及啓発や喫煙防止をめざす

依頼のあった小学校で、たばこの害や受動喫煙等についての講座を開催する

・敷地内全面禁煙や屋内禁煙を進めるための啓発活動

目的：受動喫煙を防止する環境づくりを推進する

関係機関と連携して啓発活動を行う



地区組織～愛育委員・栄養委員との協働～

1 栄養改善協議会

(令和6年度及び令和7年度実績)

重点目標「元気が素敵！健康真庭！！～みんなでつくろう元気な真庭～」の推進

総会及び研修会	R6:1回 30人	R7:1回 24人(今年度は総会のみ)
理事会	R6:4回	R7:4回 予定
管内研修会	R6:1回 14人	R7:1回 23人
元気がすてき栄養展	R6:1回 約60人	R7: 1回(11月)

2 愛育委員連合会

スローガン:みんなの力で「元気が素敵！健康真庭！！」をきずこう

総会及び研修会	R6:1回 73人	R7:1回 173人(75周年記念大会並びに総会)
理事会	R6:5回 59人(延)	R7:5回予定
リーダー研修会	R6:1回 30人	R7:1回 30人

3 愛育委員・栄養委員合同研修会:真庭版地域ですすめる健康支援事業

目的:親子が地域で見守られているという安心感を持ちながら、児の健やかな成長を促し、子育ての楽しさや喜びを感じられる地域づくりを目指して、地域で活動する愛育委員・栄養委員が関係者と協働しながら地域ぐるみの子育て支援活動を展開する。

検討会	R6:1回 12人	R7:1回 12人
報告会	R6:1回 32人(報告書を冊子にまとめ、各支部に配付)	R7:1回予定

地区組織～栄養委員との協働～

元気がすてき栄養展

R6.11.9 (マルイアルティ店)



(令和6年度及び令和7年度実績)

真庭保健所管内栄養改善協議会と蒜山イキイキ楽齋協議会、岡山県栄養士会真庭市部の方々と連携して、野菜摂取や減塩について普及啓発を行いました
今年度も11月に開催

栄養委員のコーナーでは、普段食べている野菜の量はどのくらいか
実際の野菜を使って計量、不足分を体感してもらい、野菜摂取を呼びかけました

管内栄養改善協議会研修会

R7.10.3 (新庄村ふれあいセンター)

管内栄養改善協議会委員及び地域住民の方を対象に研修会を開催
睡眠をテーマに御講演をいただき普段の睡眠について考え直すきっかけになりました



地区組織～愛育委員との協働～

(令和6年度及び令和7年度実績)

真庭保健所管内愛育委員連合会（委員数529人：R7.4.1時点）

スローガン：みんなの力で「元気が素敵！健康真庭！！」をきずこう

①総会及び研修会 R6:1回73人

【R7年度】75周年記念大会並びに総会
1回173人



記念講演『愛育委員の力
～「愛育のこころ」を
引き継いで～』



▲山陽学園大学
教授 山野井 尚美 先生

③リーダー研修会

R6:1回30人

R7:1回30人

講演『健康長寿を目指そう
全身と繋がる健康づくり
～愛育委員に期待すること～』



口の健康が全身の健康に繋がる。
歯科への検診や受診に行くことなど
身近な方から声かけをして欲しい。

▲真庭歯科医師会
会長 大國 伸 先生

②世界禁煙デー 街頭啓発活動



高校生を中心に、幅
広い年代の方にたば
この害について啓発

リーフレット、ティッシュ等
を配布し、声かけ

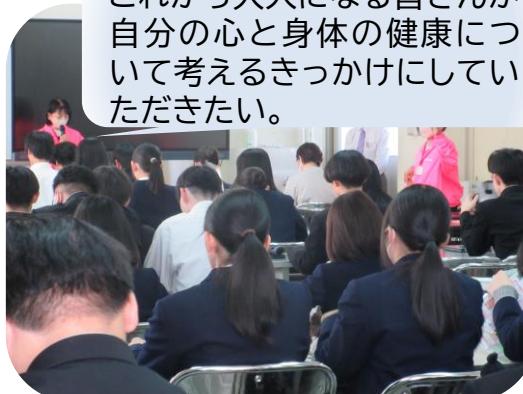
〈実施場所〉

R6:中国勝山駅、
三金や勝山支店

R7:中国勝山駅、真庭高校

④思春期出前講座

これから大人になる皆さん
自分の心と身体の健康につ
いて考えるきっかけにして
いただきたい。



R6:勝山高校1回学生102人

R7:勝山高校1回学生107人

講演『がんについて学ぼう～看
護の立場から～』

がんを自分のこととして
考えてほしい。

▲倉敷成人病センター
乳がん認定看護師
小原 未貴 先生

R6:学生6人、
看護職1名

R7:学生14人、
看護職4名

【講座後】

看護職を希望する
学生との座談会



地区組織～愛育委員・栄養委員との協働～

(令和6年度及び令和7年度実績)

愛育委員・栄養委員合同研修会：真庭版地域ですすめる健康支援事業

目的：親子が地域で見守られているという安心感を持ちながら、児の健やかな成長を促し、子育ての楽しさや喜びを感じられる地域づくりを目指して、地域で活動する愛育委員・栄養委員が関係者と協働しながら地域ぐるみの子育て支援活動を開展する。

検討会



管内愛育委員連合会と管内栄養改善協議会の会長・副会長が集まり、今年度計画について検討

R6:1回12人

R7:1回12人

報告会 R6:1回 32人(報告書を冊子にまとめ、各支部に配付)

R7:研修会を1回開催予定

支えられた体験は世代を超えて
好循環する。
親子のことを気にとめて、
声をかけてほしい。

R6年度



▲保健師 大熊江美子 先生

他地域の活動を知ることができて参考になった。



親子が安心できる居場所づくり
を残していくたい。

他団体と連携した取組
をしていたり、続けていくことが大切。



健康づくり

1. 食を育む環境整備

(1) 真庭地域食育推進協議会

- 目的:関係機関及び団体等との意見交換を行い、今後の食育活動について検討し、地域における食育活動を総合的かつ効果的に推進する。
- 4つの課題・目標:よく噛む、高血圧予防、真庭の食材、運動不足
- 参加機関:地域に所属する団体、幼稚園・保育所・学校関係者、農林水産業者、食品関連事業者、行政 など



食育啓発ポスター

令和6年度	令和7年度
2回	2回予定

(2) 元気がすてき栄養展(糖尿病予防戦略事業:地域密着型生活病サポート事業)

栄養改善協議会、蒜山いきいき楽酪協議会、岡山県栄養士会真庭支部と協働し、市内ショッピングセンターで、野菜摂取量を増やすポイントやおいしく減塩をする調理の工夫など、健康新習慣の定着に向けた普及啓発を実施。

令和6年度	令和7年度
1回 約60人	11月予定

健康づくり

2. 健康づくりボランティアの組織育成

がん検診受診勧奨、生活習慣病予防、食育の推進、子育て支援等、子どもからお年寄りまでの健康づくりの推進を行う愛育委員、栄養委員と地域活動を実施。研修会等で市村と連携し組織育成を行っている。

<委員数>

	令和6年度	令和7年度
愛育委員	530人	529人
栄養委員	89人	23人

※令和7年度から栄養委員は新庄村のみ

① 栄養改善協議会

重点目標「元気が素敵！健康真庭！！～みんなでつくろう元気な真庭～」の推進

	令和6年度	令和7年度
総会及び研修会	1回 30人	1回 24人(総会のみ)
理事会	4回	4回 予定
管内研修会	1回 14人	1回 23人
元気がすてき栄養展	1回 約60人	1回(11月予定)

健康づくり

② 愛育委員連合会

スローガン:みんなの力で「元気が素敵！健康真庭！！」をきずこう

	令和6年度	令和7年度
総会及び研修会	1回 73人	75周年記念大会並びに総会 1回 173人
理事会	5回 59回	5回 予定
リーダー研修会	1回 30人	1回 30人

③ 愛育委員・栄養委員合同研修会:真庭版地域ですすめる健康支援事業

目的:親子が地域で見守られているという安心感を持ちながら、児の健やかな成長を促し、子育ての楽しさや喜びを感じられる地域づくりを目指して、地域で活動する愛育委員・栄養委員が関係者と協働しながら地域ぐるみの子育て支援活動を展開する。

	令和6年度	令和7年度
検討会	1回 12人	1回 12人
報告会	報告書を冊子にまとめ各支部に配付 1回 32人	1回 予定

健康づくり

3. たばこ対策

たばこからの健康影響普及講座

	令和6年度	令和7年度
たばこからの健康影響普及講座	R6.12.9 八東小学校 R6.12.16 天津小学校	R7.12.12 久世中学校 R7.12.16 天津小学校
受動喫煙防止の推進事業	2回	2回

	令和6年度末	令和7年度（9月末時点）
敷地内全面禁煙実施施設	65施設	66施設
屋内全面禁煙宣言施設	96施設	100施設

世界禁煙デー街頭キャンペーン

愛育委員と協働し勝山駅前、真庭高校にてリーフレットとポケットティッシュを配布する啓発活動を実施

4. 食環境整備

おかやまからだ晴れ食センター登録事業 【R7.10.31時点】5件





主要施策7

「安全・安心な生活衛生の推進」

主な取り組み

① 食品衛生関係業務

「岡山県食の安全・安心推進計画」等に基づき、食品関係施設に監視指導や食品の検査を実施することにより、食の安全・安心の確保を図っている。

<取り組み>

- ・**食品衛生関係施設への監視指導**
- ・食品等の効果的な試験検査の充実
- ・消費者、食品事業者への啓発

② 生活衛生関係業務

生活衛生関係施設の衛生指導、特に、美作エリアには温泉を利用した入浴施設が多数あり、旅館業及び公衆浴場等におけるレジオネラ症発生の未然防止を図るため、衛生管理の徹底を指導する。

<取り組み>

- ・**レジオネラ症発生防止対策**
- ・生活衛生関係営業施設の監視指導及び自主管理の推進
- ・水道法関係業務

③ 薬務関係業務

医薬品・毒物劇物関係施設への監視指導を行うとともに、医薬品の適正使用・薬物乱用防止に関する正しい知識の啓発を行う。

<取り組み>

- ・薬局・医薬品販売業、毒物劇物関係施設への監視指導
- ・医薬品等の適正使用の推進、薬物乱用防止活動の展開

1 食品衛生関係業務 (令和7年9月末現在)

○監視指導

1 対象施設数 1, 693件

2 監視件数

(1) 一般監視(通常監視) 323件

(2) 重点監視(社会的影響度が高い施設の監視)

45件(対象施設125施設)



学校給食の調理場の監視

○食中毒の発生状況

毒キノコの誤食による食中毒 1件

2 生活衛生関係業務 (令和7年9月末現在)

○レジオネラ対策

(1)浴槽水の採水検査(公衆浴場・旅館等)

5施設 14検体



アメバに寄生するレジオネラ菌の顕微鏡写真
[写真提供：国立予防衛生研究所 病生動物部]

○生活衛生営業関係監視指導業務

(1)公衆浴場監視指導件数 18件(32)

(2)旅館業監視指導件数 20件(144)

*()は対象施設数

3 薬務関係業務 (令和7年9月末現在)

○覚醒剤等薬物乱用防止ヤング街頭キャンペーン

(1) 日時: 令和7年6月20日(金)

(2) 場所: 勝山高校

(3) 対象: 高校生約330名

(4) 内容

 覚醒剤等乱用防止指導員
 及び勝山高等学校生徒会に
 参加・協力をいただき、登校
 中の生徒を対象に薬物乱用
 防止を呼びかけるとともに、啓発資材を配布

